

東邦銀行の現況

平成25年度決算



すべてを地域のために

東邦銀行



目 次

・福島県の現状

- 1 . 福島県の概要 ……………2
- 2 . 福島県の現状 ……………3～4
- 3 . 成長分野の状況 ……………5
- 4 . 観光産業の盛り上がり ……………6

・平成25年度決算の概要(単体)

- 1 . 平成25年度決算の概要 ……………8
- 2 . 総預かり資産の状況 ……………9
- 3 . 貸出金の状況 ……………10
- 4 . 福島県内の預金・貸出金シェア ……………11
- 5 . 有価証券の状況 ……………12
- 6 . 資金利益の状況 ……………13
- 7 . 役務取引等収益(手数料収益)の状況 ……14
- 8 . 経費の状況 ……………15
- 9 . 貸出資産の質 ……………16
- 10 . 経営の健全性 ……………17
- 11 . 株主の皆さま方へ ……………18

・中期経営計画「東邦“一步一步”計画」

- 1 . 中期経営計画の概要 ……………20
- 2 . 主要勘定目標、経営指標目標 ……………21
- 3 . 事業をされているお客さまへの支援
 - (1) 成長企業の支援 ……………22
 - (2) 成長分野への取組み ……………23
 - (3) 事業承継が必要なお客さまの支援・
お客さまの販路拡大支援 ……………24
 - (4) 事業性融資への取組み ……………25
 - (5) 事業再生への取組み ……………26
 - (6) 海外マーケット進出支援 ……………27
- 4 . 個人のお客さまへのサポート
 - (1) ライフイベントに応じたサービスの提供 ……28
 - (2) 個人ローンの取組み ……………29
- 5 . 地方自治体と連携した地域振興の取組み ……30
- 6 . チャネル戦略 ……………31
- 7 . システム戦略 ……………32
- 8 . 経営体質の更なる強化
 - (1) 人材育成への取組み ……………33
 - (2) 従業員のワークライフバランス支援 ……34
- 9 . 地域貢献・CSRへの取組み ……………35～36

・福島県の現状

1. 福島県の概要

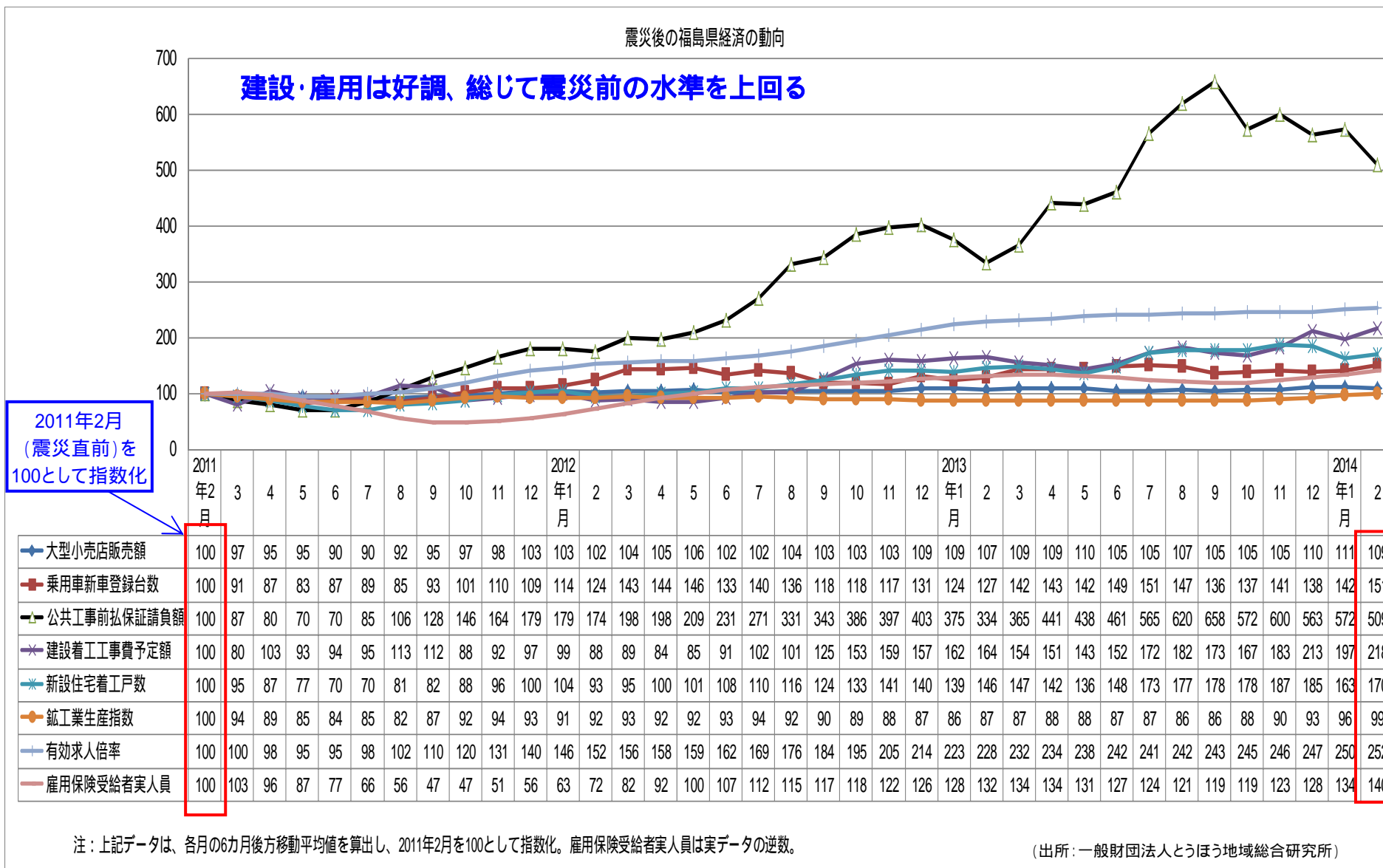
福島県は総面積東北2位、「**製造品出荷額等**」は**東北1位**(平成24年度)

広大な県土を活かした**多彩な産業**を有する

	震災前の福島県	震災後の福島県	現在の福島県
	多彩な魅力あふれる県	東日本大震災発生	復興に向け着実に進捗
農 林 水 産 業	<p>「米」「トマト」「柿」などの全国有数の産地</p> <p>水稲収穫量 4,457百t 全国4位 (平成22年度)</p> <p>農業産出額 2,330億円 東北2位 (平成22年度)</p>	<p>放射性物質の暫定基準を超えた農作物の出荷制限</p> <p>水稲収穫量 3,536百t 全国7位 (平成23年度)</p> <p>農業産出額 1,851億円 (平成23年度)</p>	<p>県産農林水産物のモニタリング</p> <p>米の全袋検査実施</p> <p>水稲収穫量 3,687百t 全国7位 (平成24年度)</p> <p>農業産出額 2,021億円 回復基調 (平成24年度)</p>
観 光 産 業	<p>恵まれた自然環境、温泉・名勝地がある全国でも指折りの観光県</p> <p>観光客入込総数 5,717万人 (平成22年度)</p> <p>福島空港利用者数 28万人 (国内線・国際線合計) (平成22年度)</p>	<p>観光客は原発事故や風評被害により大幅減少</p> <p>観光客入込総数 3,521万人 (平成23年度)</p> <p>福島空港利用者数 21万人 (国内線・国際線合計) (平成23年度)</p>	<p>観光客数は震災前の8割まで回復</p> <p>大河ドラマ「八重の桜」により会津若松市の観光客が過去最高となる</p> <p>観光客入込総数 4,445万人 (平成24年度)</p> <p>福島空港利用者数 23万人 (国内線・国際線合計) (平成24年度)</p>
製 造 業	<p>本県経済の中心となる産業</p> <p>製造品出荷額等 509百億円 東北1位 (平成22年度)</p> <p>全国新酒鑑評会 金賞数19 全国2位 (平成22酒造年度)</p> <p>(出所:平成23年度版 福島県勢要覧・酒類総合研究所)</p>	<p>7割の企業が「取引先から製品等の放射線測定を要請された」</p> <p>会津地域でも「取引先からの部品等の納入遅延」が6割超発生</p> <p>製造品出荷額等 432百億円 東北1位 (平成23年度)</p> <p>全国新酒鑑評会 金賞数22 全国2位 (平成23酒造年度)</p> <p>(出所:福島県勢要覧・一般財団法人とうほう地域総合研究所・酒類総合研究所)</p>	<p>工場の新増設の動きが急増</p> <p>製造品出荷額等 446百億円 東北1位 (平成24年度)</p> <p>全国新酒鑑評会 金賞数26 全国1位 (平成24酒造年度)</p> <p>(出所:平成25年度版 福島県勢要覧・酒類研究所)</p>

2. 福島県の現状 ~ 震災後の福島県経済の動向 ~

県内主要経済指標



2. 福島県の現状 ~ 復興に向けた動き ~

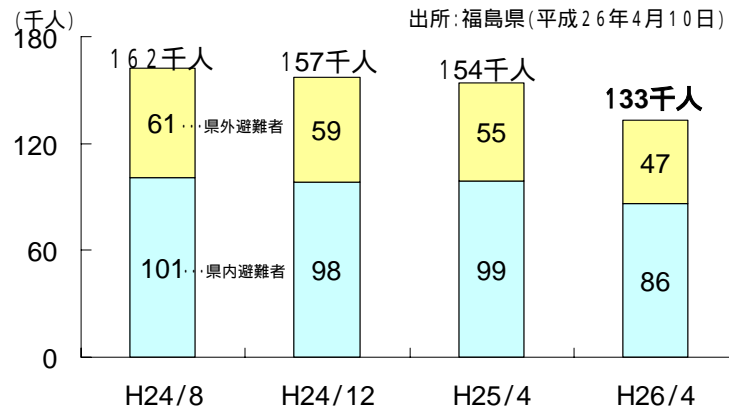
人口動態、県内地価、工場立地件数、雇用動向で明るい兆しがみられ、復興に向けて着実に進捗

人口動態

避難者数減少傾向 ピーク162千人(H24.8) **133千人**(H26.4)

県人口 約194万人(平成26年4月1日現在)

県内ゼロ歳児人口 14千人(前年同期比 **+854人**)
(平成26年4月1日現在)



県内地価

平成26年県内公示地価が**22年ぶりに上昇**

被災者の移転等により浜通り、都市部の住宅地需要が拡大

平成26年公示地価平均変動率

出所: 国土交通省HP

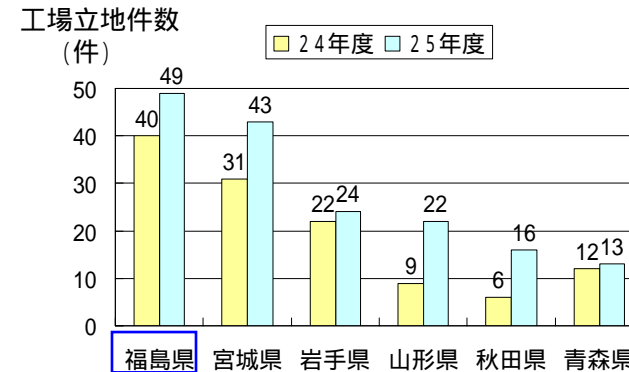
用途別		住宅地	商業地	工業地	全用途
主要都市	福島市	1.9	0.5	0.0	1.0
	郡山市	1.4	0.9	1.3	1.3
	いわき市	4.0	1.4	1.5	3.5
	会津若松市	0.2	0.1	0.8	0.2
	県平均	1.2	0.5	0.9	0.8

企業誘致・企業新設

「ふくしま産業復興企業立地補助金」が呼び水となり

工場立地件数が東北で最多 49件(前年比23%増)

出所: 日本経済新聞(平成26年4月1日)



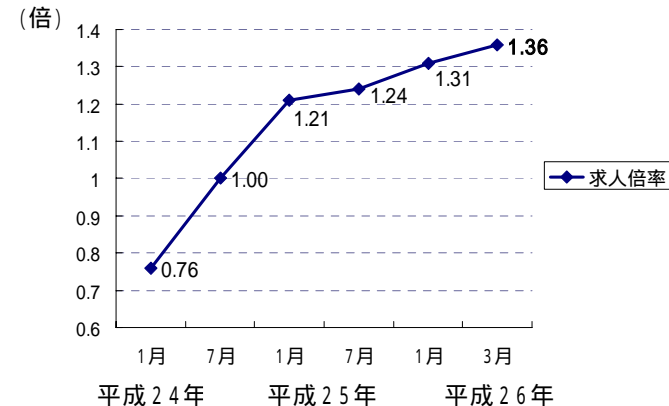
県内の雇用動向

県内求人倍率1.36倍 (平成26年3月) **全国6位**

復旧・復興関連求人の増加等により改善

出所: 厚生労働省福島労務局

(平成26年5月2日)



3 . 成長分野の状況

再生可能エネルギー導入や医療福祉機器産業等の集積に向けた着実な動きが見られる

再生可能エネルギー

産業技術総合研究所

平成26年4月開所・郡山市

浮体式洋上風力発電設備「ふくしま未来」

平成25年11月稼働・広野町・楢葉町沖

世界初の浮体式洋上風力発電設備



(風力発電イメージ)

福島空港メガソーラー

平成26年3月稼働・須賀川市、
玉川村・1,200KW



(メガソーラーイメージ)

小名浜太陽光プロジェクト

平成26年8月稼働予定・小名浜市・20,000KW

南相馬ソーラー・アグリパーク

南相馬市・500KWの太陽光発電所と植物工場を備える

沿岸部大規模太陽光発電事業

平成29年度稼働予定・南相馬市・70,000KW

医療産業等集積

福島県医療機器開発・安全性評価センター(仮称)

平成27年開所予定・郡山市

福島県環境創造センター

南相馬市・三春町、平成27年度一部供用開始

ふくしま国際医療科学センター

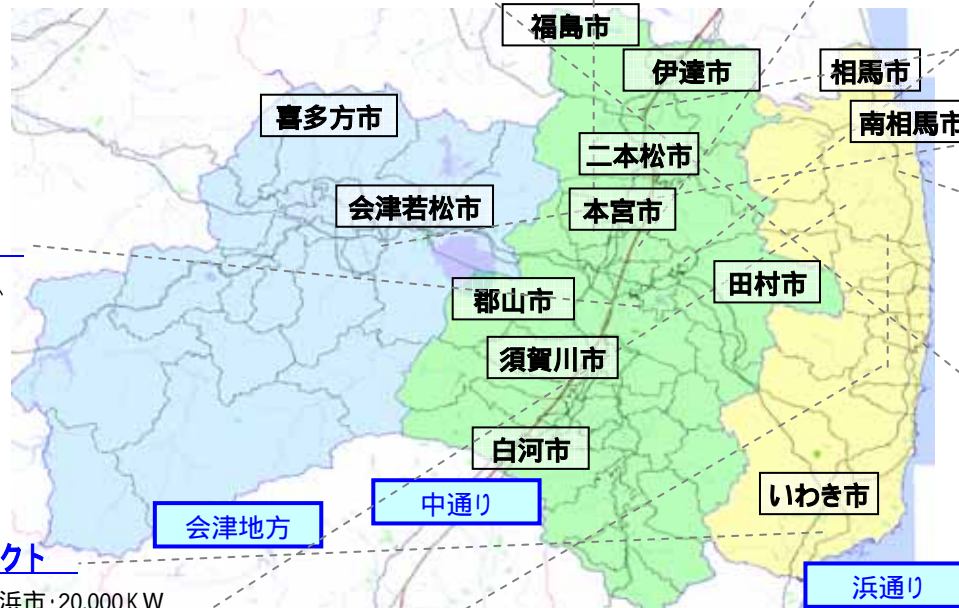
平成27年度末一部供用開始・福島医大内

会津大学復興支援センター(先端ICTラボ)

平成27年供用開始予定・会津若松市

浜地域農業再生研究センター(仮称)

平成27年度開所予定・南相馬市



【医療機器生産額】

平成20年	942億円(全国5位)
平成21年	801億円(全国8位)
平成22年	911億円(全国6位)
平成23年	976億円(全国5位)
平成24年	1,089億円(全国4位)

【平成24年度 医療機器生産額全国順位】

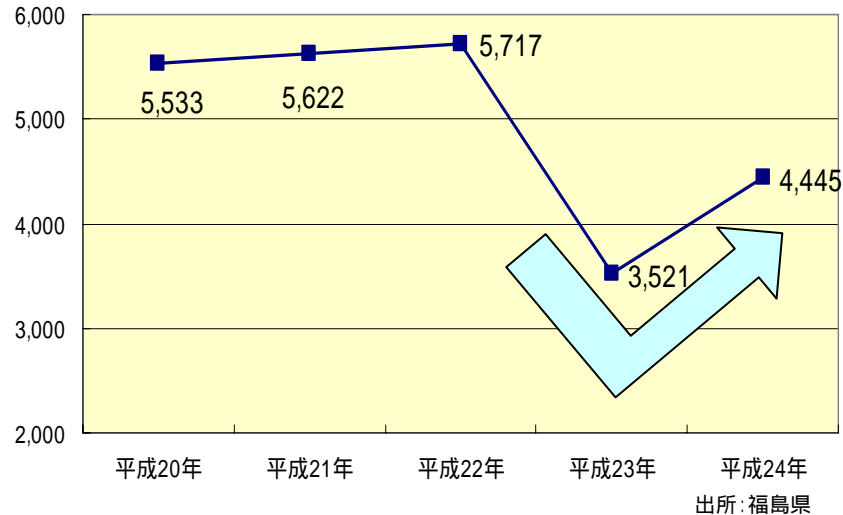
1位	静岡県	3,652億円
2位	栃木県	1,886億円
3位	東京都	1,246億円

4. 観光産業の盛り上がり

大河ドラマ「八重の桜」や「東北六魂祭」の開催により県内観光産業再生が加速

県内の観光客入込数の回復

平成25年度は未公表なるも「八重の桜」放送の効果で、
会津地域を中心に更に観光客が増加した見込み 単位:万人



大河ドラマ「八重の桜」の経済効果

経済効果 約215億円

昨年の会津若松市の観光客が
過去最高となる

鶴ヶ城

平成25年度の天守閣 総入場者
91万人(過去2番目の多さ)



「東北六魂祭」の開催

平成25年6月1日、2日に開催**約25万人**が来場



ふくしまプレDC開幕

「ふくしまデスティネーションキャンペーン」プレキャンペーン開幕

県内観光産業活性化に期待

ディスティネーションキャンペーン本番は平成27年4月から

【プレDC連動イベント「こらんしょ福島 魅力満載フェア」】



. 平成25年度決算の概要(単体)

1. 平成25年度 決算の概要(単体)

当期純利益は修正業績予想を上回る水準を確保

(単位:億円)

	25年度	24年度	前年度比
経常収益(売上)	614	607	+7
コア業務粗利益	471	458	+13
資金利益	391	399	8
役務取引等利益	75	56	+19
その他業務利益 (除く:債券関係損益)	4	2	+2
経費	368	363	+5
コア業務純益	103	95	+8
有価証券関係損益	37	10	+27
債券関係損益	23	36	12
株式等関係損益	13	25	+39
信用コスト	3	0	+3
その他臨時損益	7	6	+1
経常利益	144	110	増加率+30% +33
特別損益	1	4	+3
税引前当期純利益	143	106	+37
当期純利益	90	62	増加率+44% +27

平成25年度決算のポイント

コア業務純益

銀行の本来業務で計上された利益
 $\text{コア業務純益} = \text{コア業務粗利益} - \text{経費}$

貸出金・有価証券残高とも着実に増加したものの、市場金利の低下により、資金利益は前年度比減少一方で、**収益の柱**として着実に成長している**役務取引等利益**の増加により、**コア業務純益**が**増益転換**

有価証券関係損益

株式市場の回復により、**株式等関係損益**が**大幅改善**

信用コスト

経営支援の取組み強化により、**信用コスト**は**低位推移**

経常利益、当期純利益

経常利益、当期純利益ともに**前年度比大幅に増加**

当期純利益 通期業績予想 対 当期実績

平成26年3月期	
修正業績予想	達成率
80	112.5%

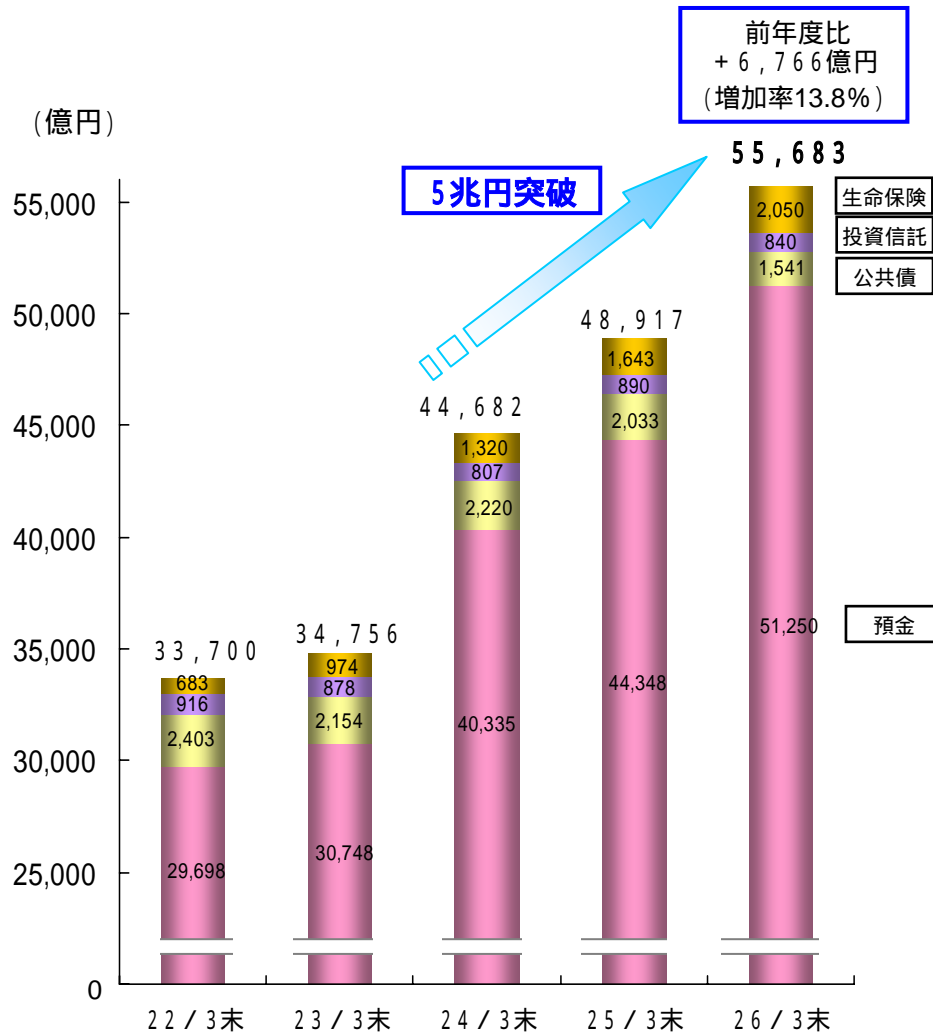
平成25年度 連結決算

【連結】	23年度	24年度	25年度	
				前年度比
経常利益	104	112	145	33
当期純利益	47	63	91	27

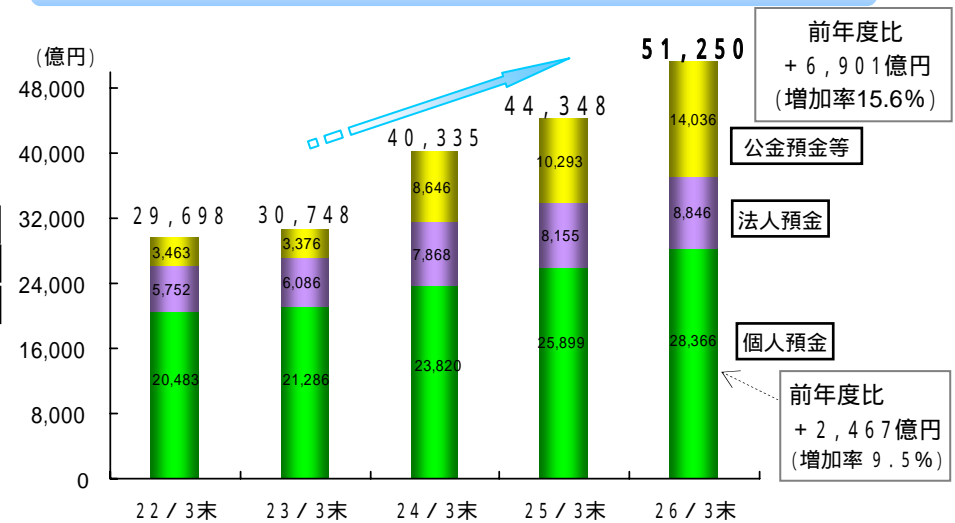
2. 総預かり資産の状況

総預かり資産残高は前年度比 6,766億円増加(増加率 13.8%)、
総預金残高も前年度比6,901億円増加(増加率 15.6%)。うち個人預金残高は前年度比 2,467億円増加(増加率 9.5%)

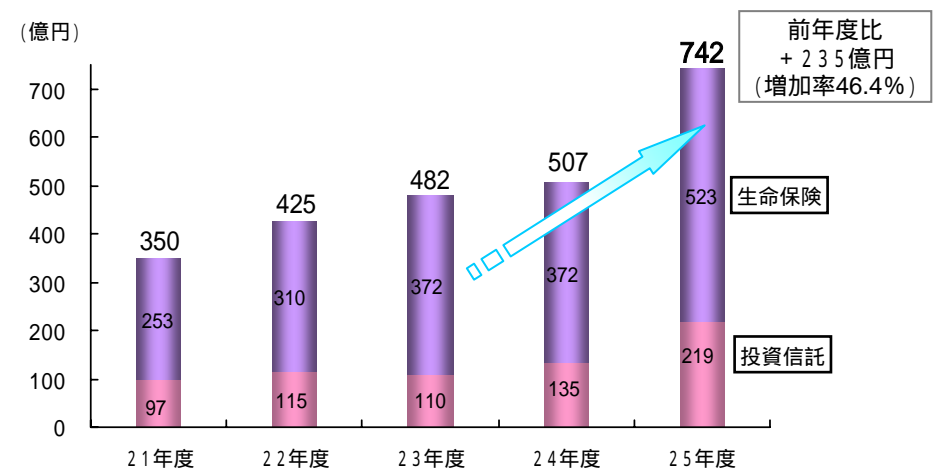
総預かり資産残高(預金+預かり資産)の推移



預金残高内訳の推移



預かり資産販売額(投資信託+生命保険)の推移

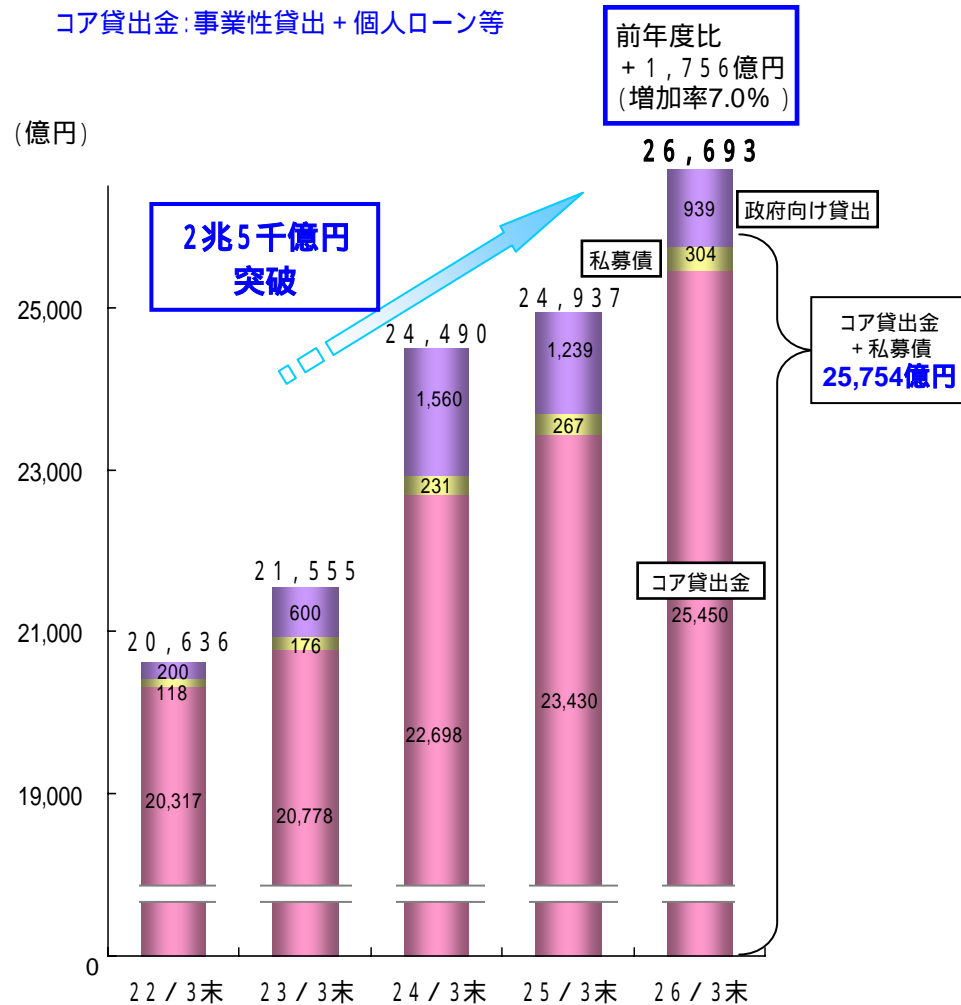


3. 貸出金の状況

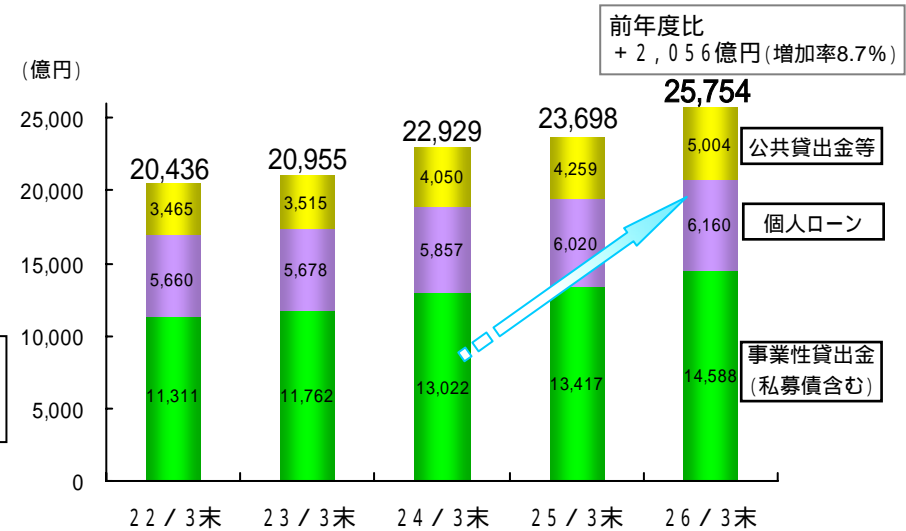
貸出金 + 私募債残高は前年度比 1,756 億円増加 (増加率 7.0%)
 コア貸出金 + 私募債残高も前年度比 2,056 億円増加 (増加率 8.7%)

貸出金 + 私募債の推移

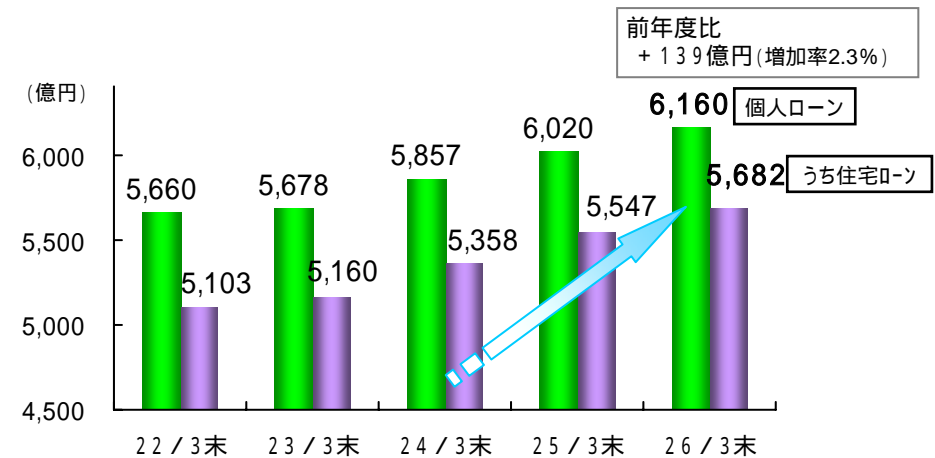
コア貸出金: 事業性貸出 + 個人ローン等



コア貸出金 + 私募債の推移



個人ローン残高の推移



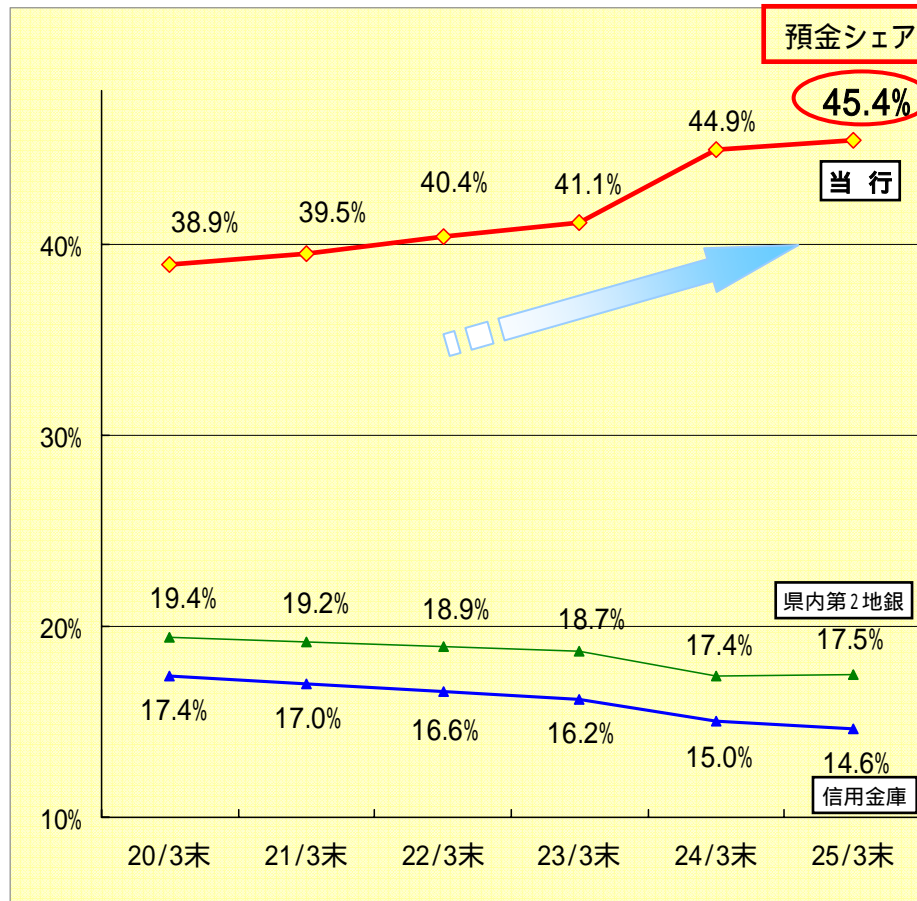
4. 福島県内の預金・貸出金シェア

福島県内の**預金シェア**は**45.4%**

福島県内の**貸出金シェア**は**40.0%** ⇨ 私募債を含めた貸出金シェア **40.5% (推計)**

福島県内 預金シェアの推移

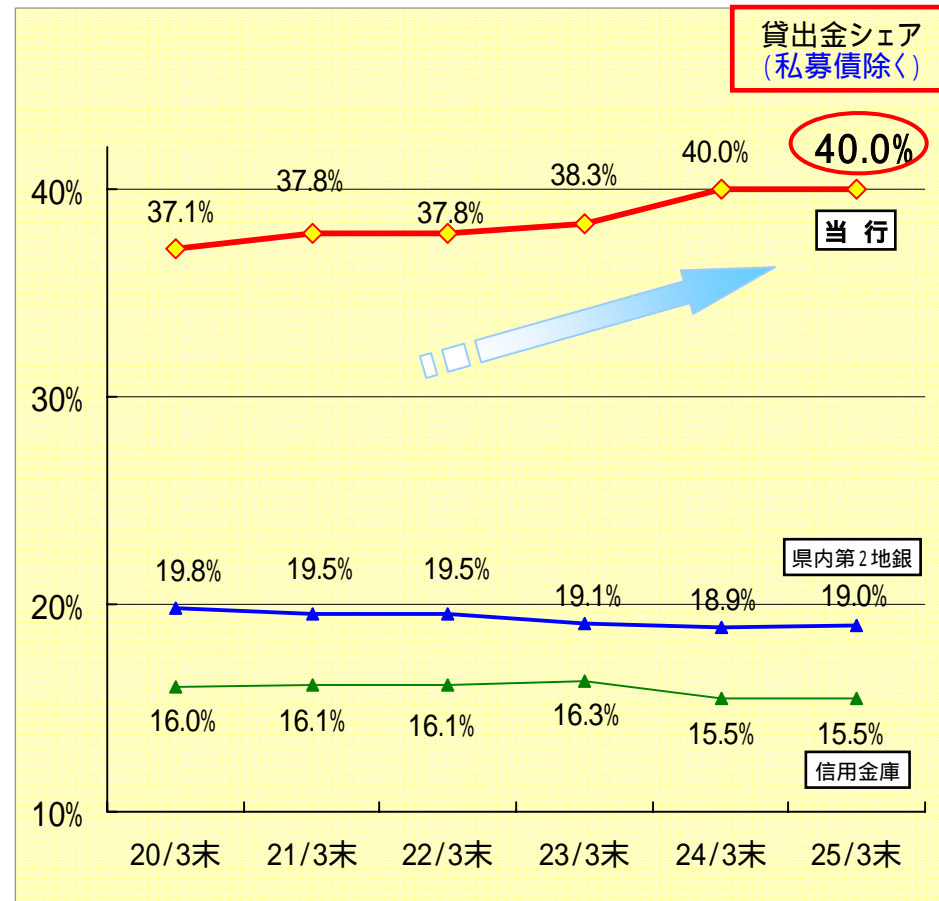
ゆうちょ銀行・農協、譲渡性預金を除く



当行譲渡性預金残高(平成26年3月末現在) 4,005億円

福島県内 貸出金シェアの推移

農協・政府系金融機関を除く



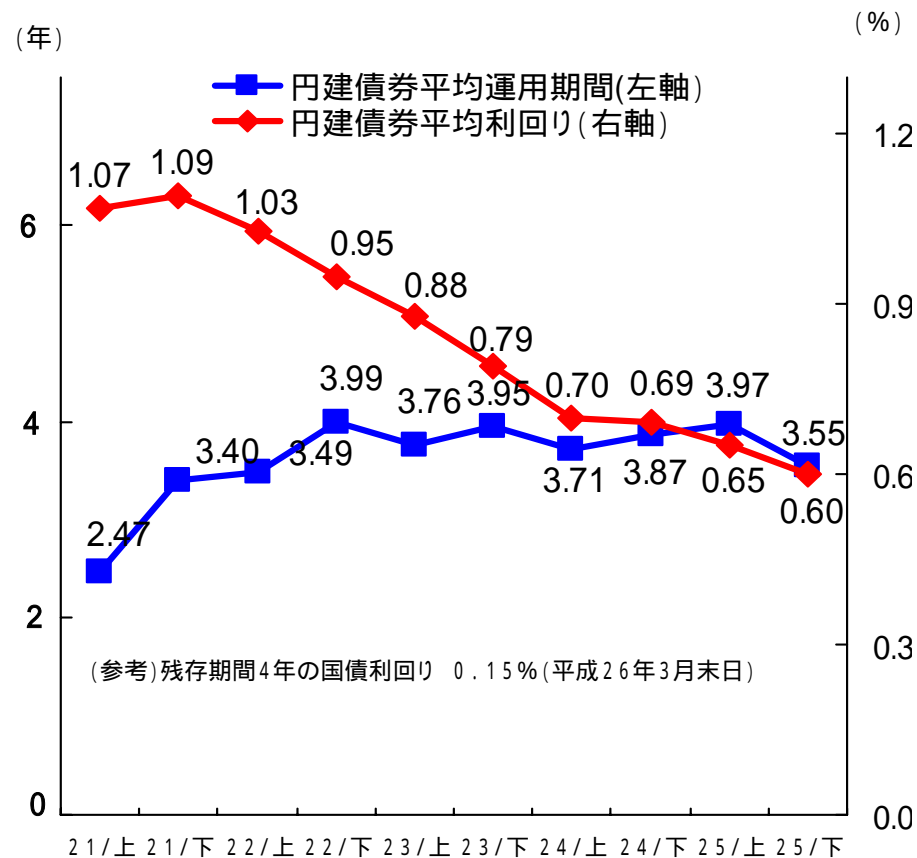
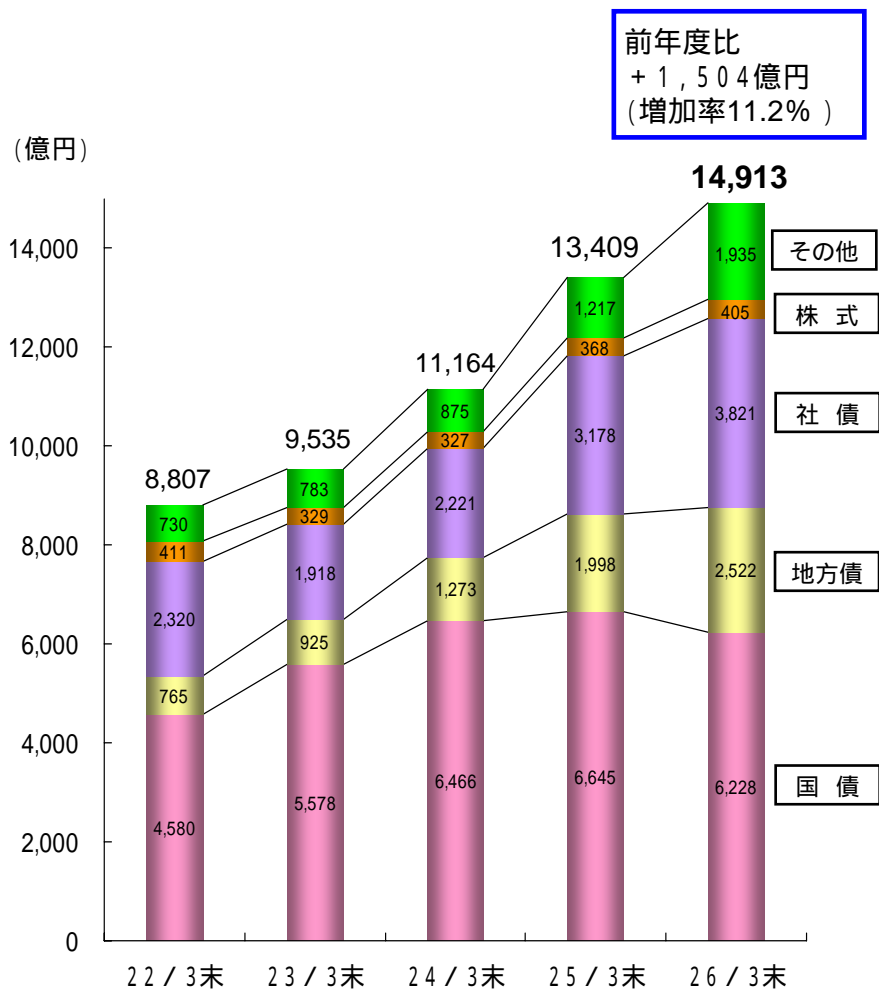
当行私募債残高(平成26年3月末現在) 304億円

5. 有価証券の状況

投資環境や市場動向に留意した資金運用に努めた結果、前年度比 1,504 億円増加 (増加率 11.2%)

有価証券の構成推移

円建債券平均運用期間・利回りの状況



6. 資金利益の状況

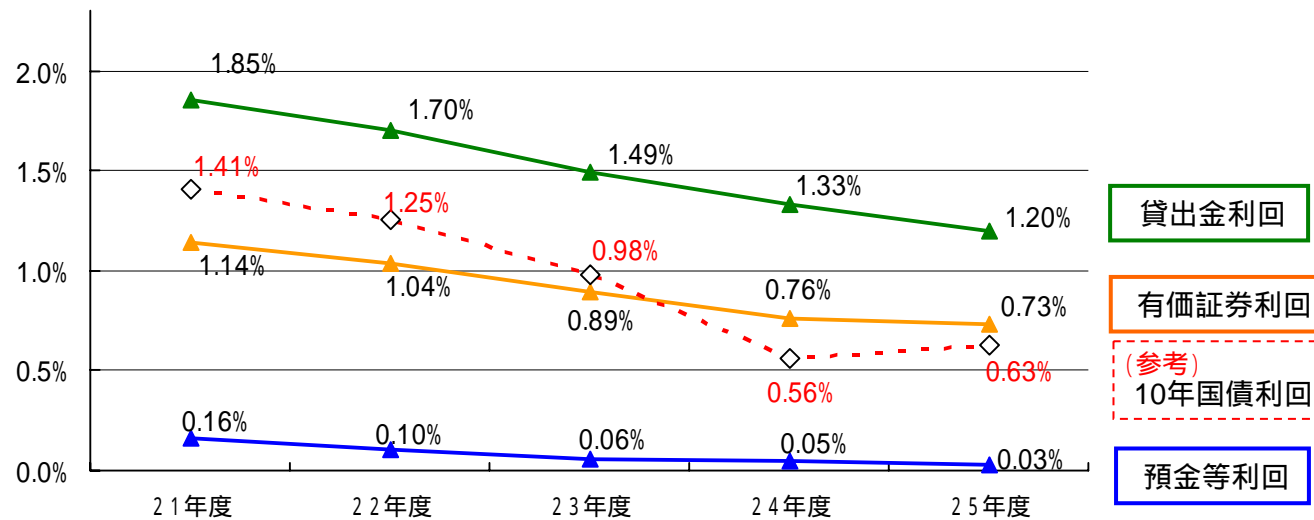
市場金利の低下の影響が大きく、資金利益は前年度比 8 億円減少

資金利益内訳

(単位:百万円)

		21年度	22年度	23年度	24年度(a)	25年度(b)	増減 (b) - (a)
資金利益		42,316	41,683	40,869	39,971	39,166	805
運用(+)	貸出金利息	37,963	35,397	33,709	32,676	30,452	2,224
	有価証券利息	9,267	9,700	9,538	9,299	10,280	+981
調達(-)	預金等利息	4,655	3,235	2,324	1,990	1,782	208

利回りの推移

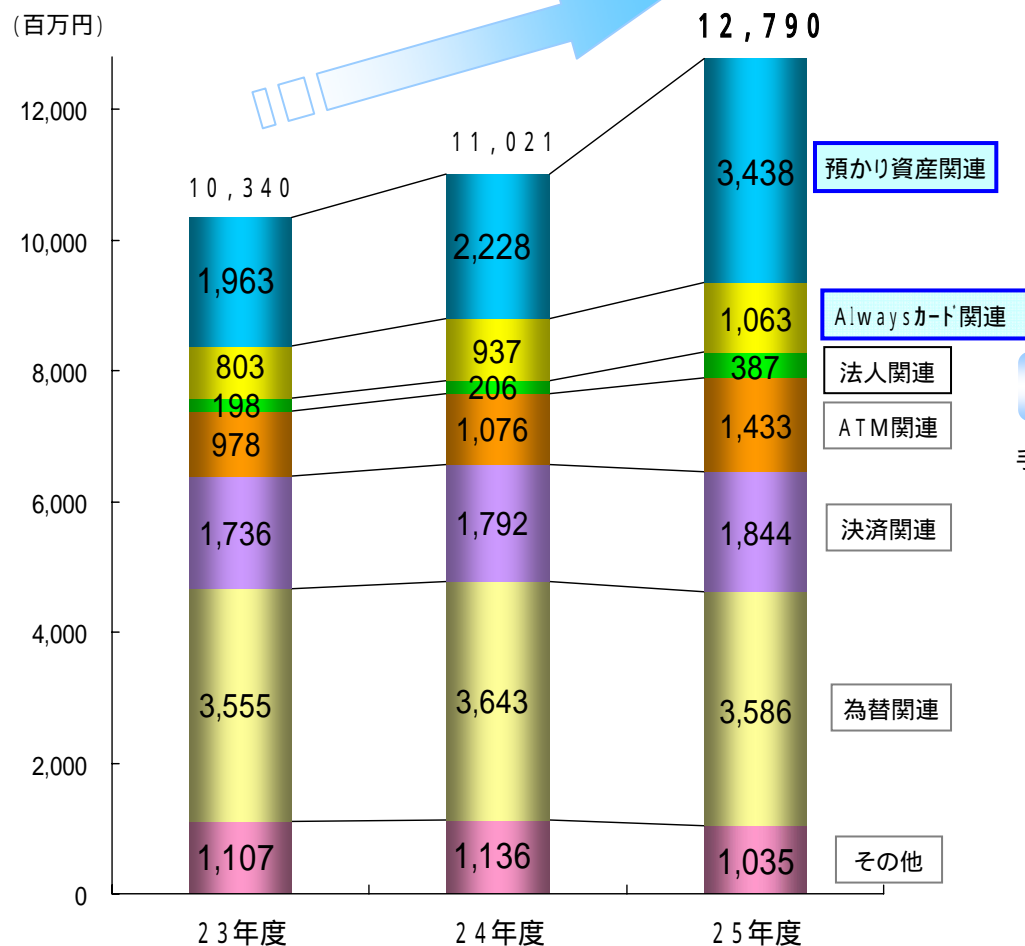


10年国債利回は、各年3月末日の利回

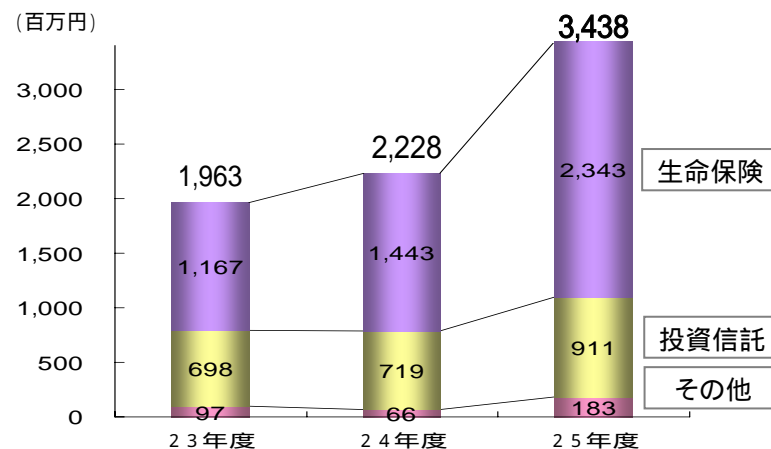
7. 役務取引等収益(手数料収益)の状況

預かり資産、クレジットカード手数料等の増加により、前年度比17億円増収

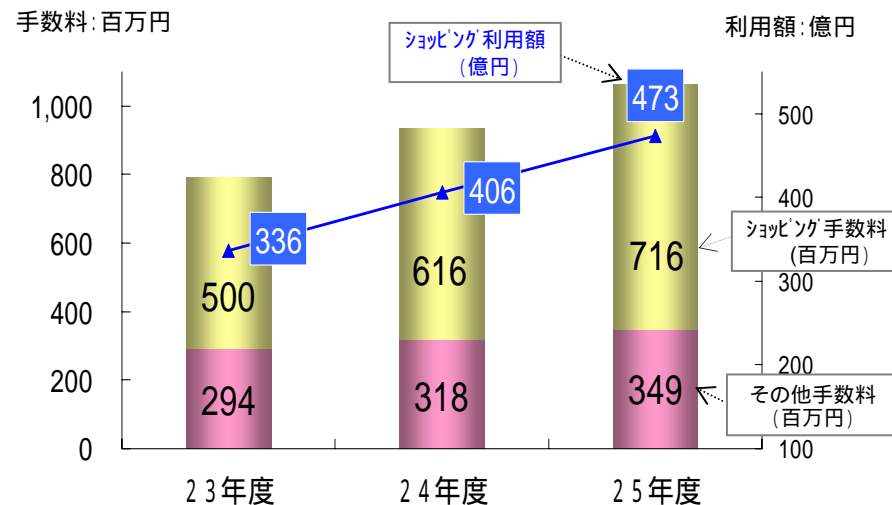
役務取引等収益の推移



預かり資産関連手数料の推移



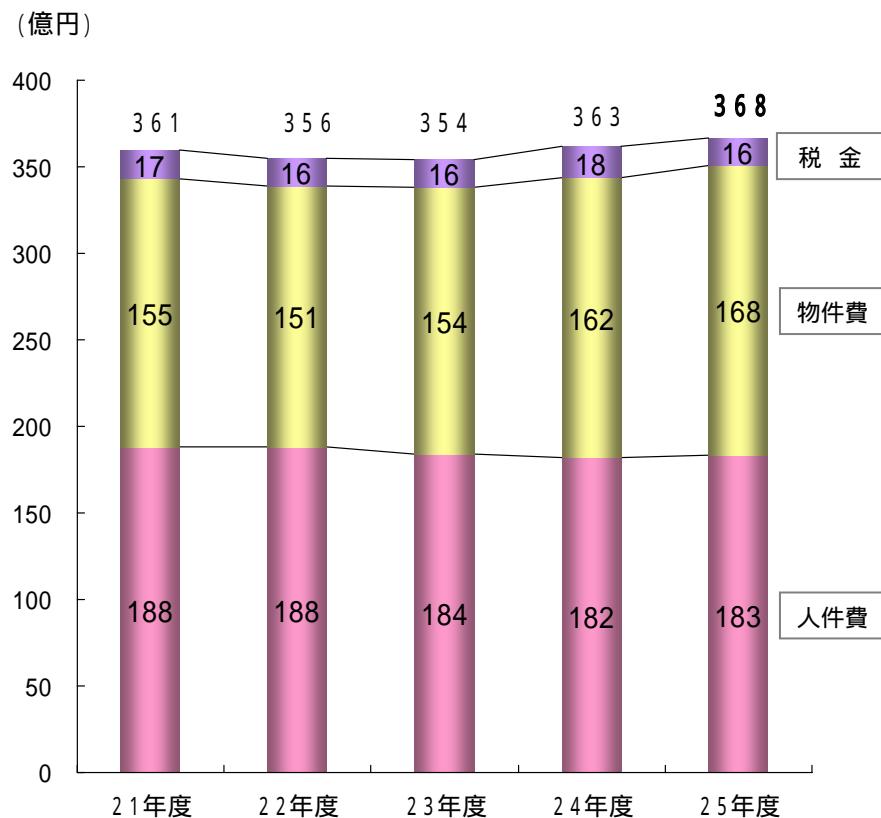
クレジットカード(Alwaysカード)関連手数料



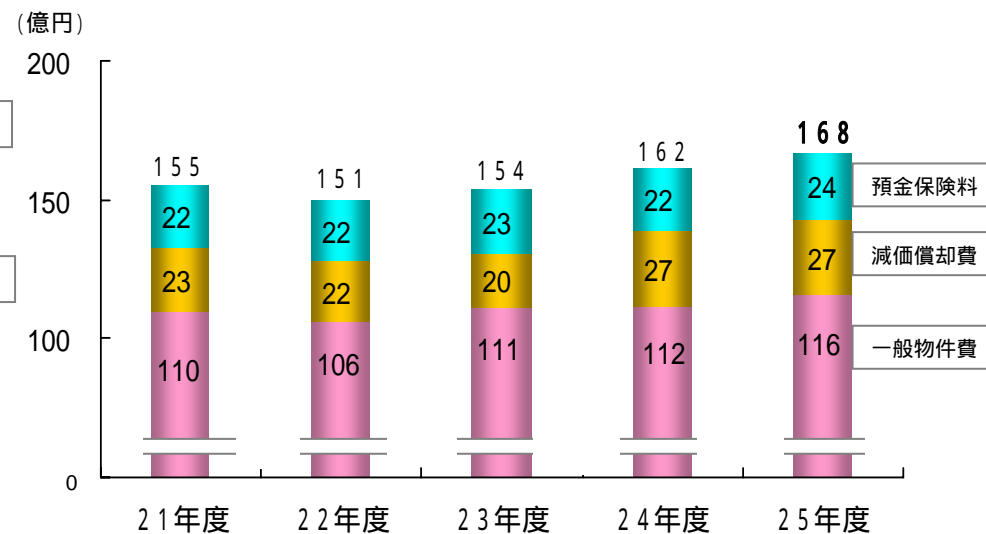
8. 経費の状況

経費は店舗リニューアルなど大型投資を実施したものの前年同水準

経費の推移



物件費の推移



職員数の推移

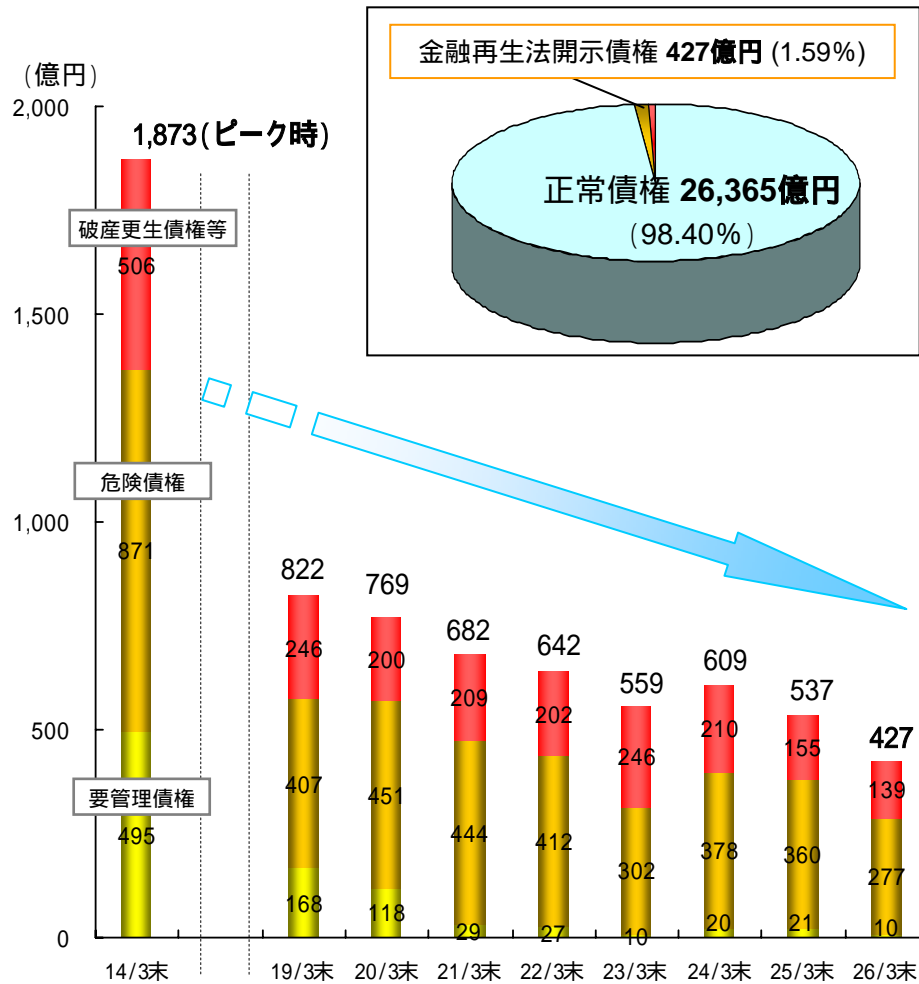
(人)

	22/3末	23/3末	24/3末	25/3末	26/3末
職員数	1,987	2,007	1,995	1,983	1,969

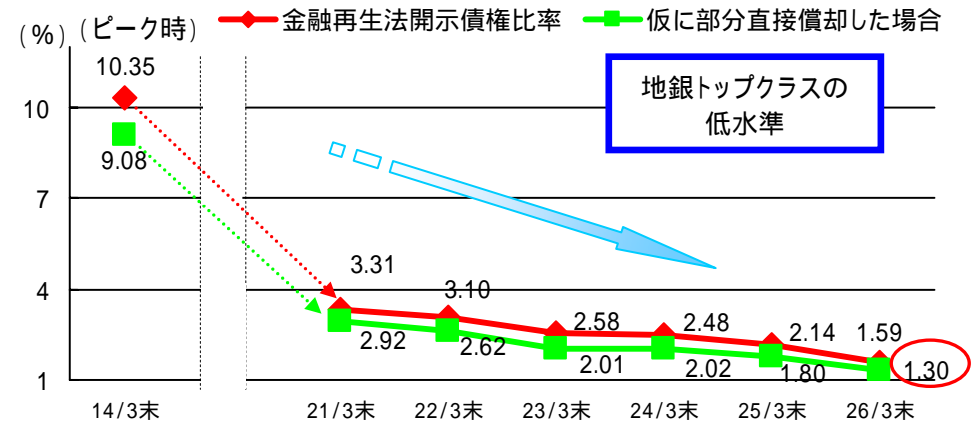
9. 貸出資産の質

金融再生法開示債権比率は、1.59%まで低下(部分直接償却を実施した場合は1.30%)

金融再生法開示債権の推移

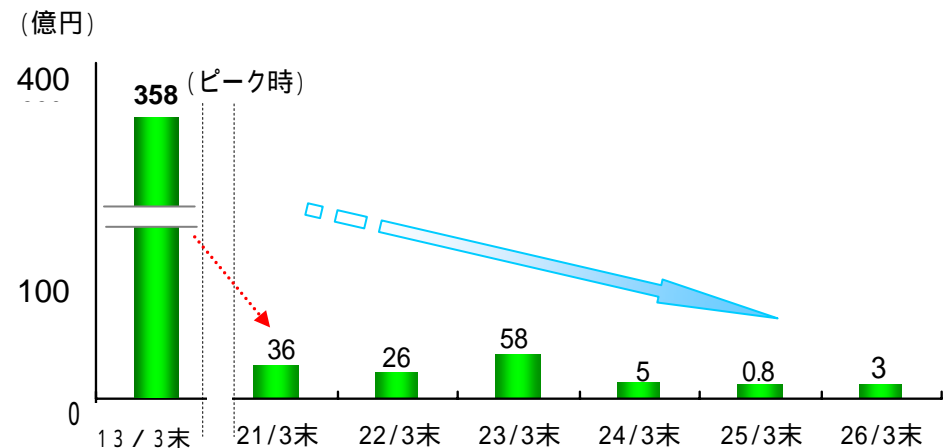


金融再生法開示債権比率の推移



部分直接償却とは「破産更生債権等」について、回収困難と認められる額に対し個別貸倒引当金の計上ではなく、貸倒償却として債権額から直接減額すること。

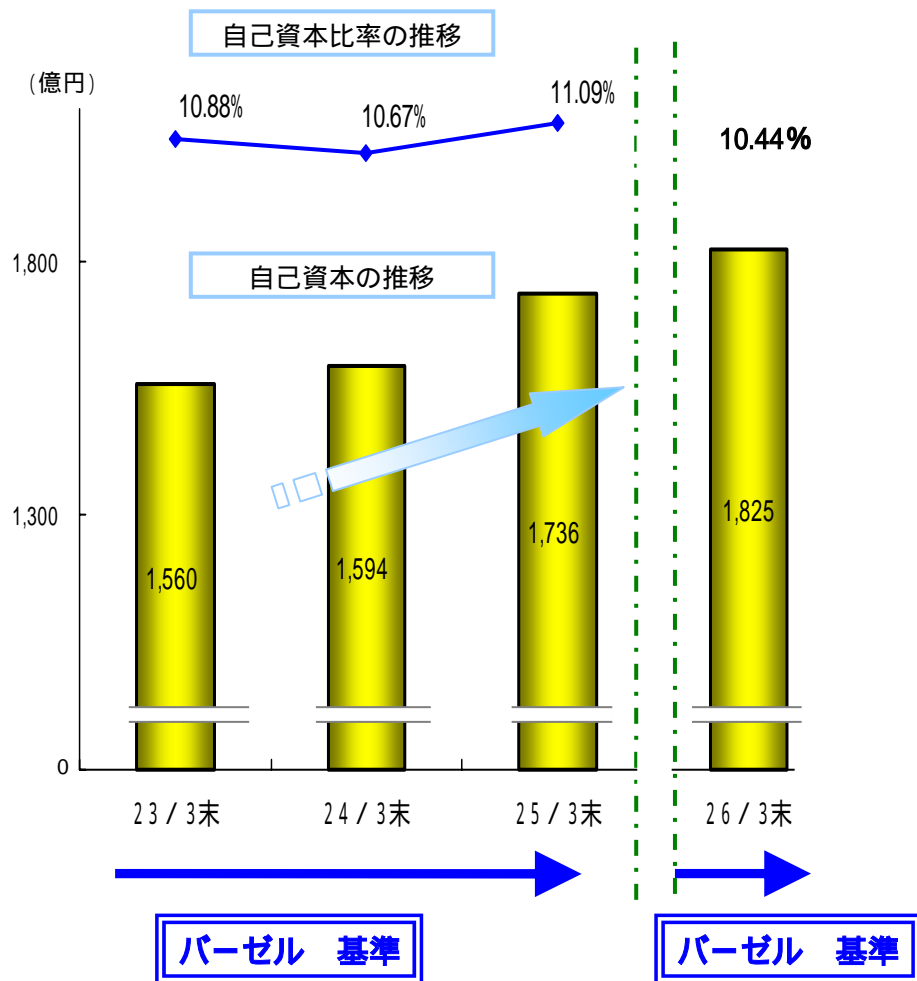
与信関係費用の推移



10. 経営の健全性

内部留保の積上げにより自己資本は増加するも、貸出金の増加やバーゼル 基準(国内基準行向け)の適用により自己資本比率は前年比0.65ポイント低下の10.44%

自己資本比率の推移(単体)



自己資本の推移(単体)

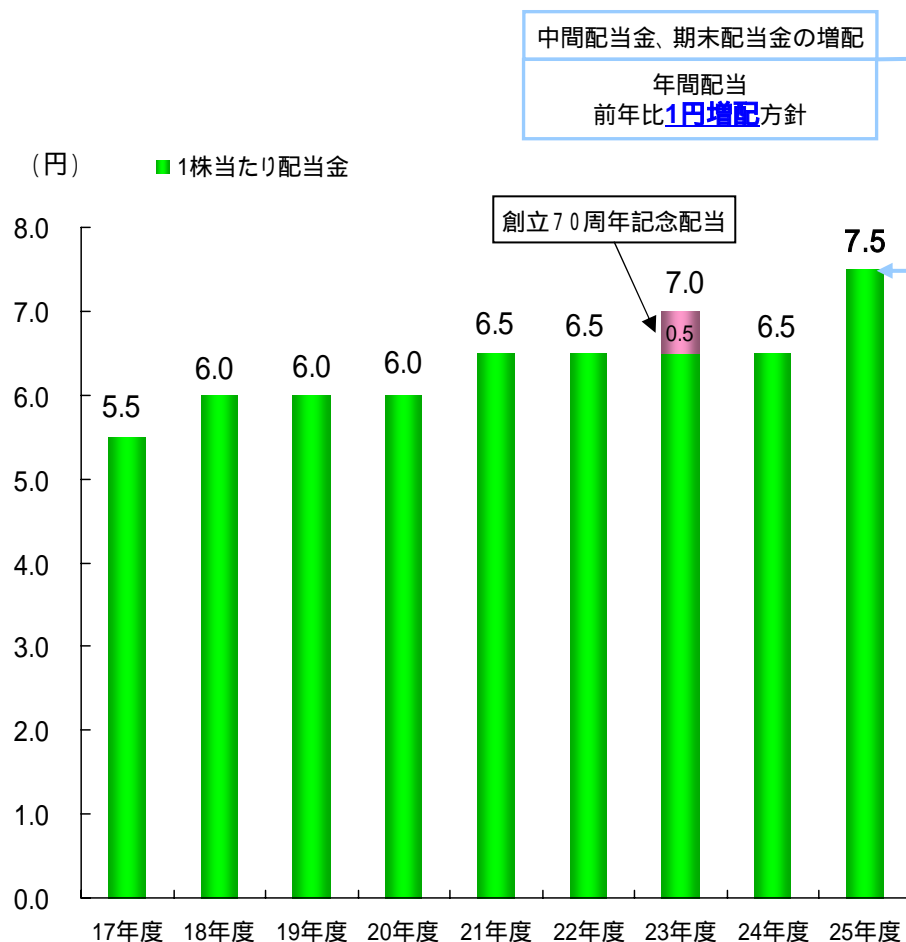
	25/3末	26/3末	増減
自己資本 (A)	1,736	1,825	+ 89
うち負債性調達手段 (劣後ローン)	248	266	+ 18
リスクアセット等 (B) (各種調整後の総資産等)	15,657	17,484	+ 1,827
自己資本比率 ($\frac{A}{B}$)	11.09%	10.44%	0.65%

平成26年3月末より、バーゼル 基準(国内基準行向け)が適用。バーゼル 自己資本比率規制の水準(国内基準行は4%以上)を十分上回る。

11. 株主の皆さま方へ

内部留保の充実による健全性の向上を図りながら、業績の成果に応じ弾力的に株主の皆さま方へ利益を還元
平成25年度は、1円増配し1株あたり年間7円50銭

1株あたり配当金



株主優待の拡充

【株主優待制度の対象となる株主さま】

毎年3月31日現在、保有株数1,000株以上の株主さま

「株主さまご優待:ふくしまからの贈りもの」(平成26年6月より新設)
ご優待品カタログより、のいずれかをご選択

「福島県宿泊施設ご優待券」(ご利用可能施設220先)

保有株式数	ご優待券種
1,000株以上5,000株未満	3,000円
5,000株以上	5,000円

「福島県の特産品」(計50品目)

福島県復興支援通販「うつくしま良品本舗」の人気商品を集め
その中からお好みの品物をご選択

株主優待定期預金

1年もの定期預金(預入金額10万円以上300万円以内)に
0.3%の金利上乘せを実施

【取扱実績】(平成26年3月末)3,217件 / 7,317百万円

中期経営計画 「東邦“一步一步”計画」

1. 中期経営計画の概要

長期目標



大きく・強く・たくましく

(商標登録 第5238791号)

～地域に熱く・お客さまに誠実に・人を大事に～

創立75周年(平成28年度)
当期純利益
100億円以上を目指す

新中期経営計画

東邦“一步一步”計画(“ステップ・バイ・ステップ”プラン)

～未来を見据え、着実な「前進」を～

計画期間:平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年間)

主要勘定目標 [平成26年度目標]

総預金 平均残高 4兆円以上
総貸出金 平均残高 2兆5千億円以上

経営指標目標 [平成26年度目標]

コア業務純益(1) 120億円以上
当期純利益 85億円以上
自己資本比率 11%以上
〔福島県内〕
預金シェア(2) 45%以上
貸出金シェア(3) 42%以上

基本方針

復興に向けた
福島への貢献

「福島の復興なくして当行の発展なし」の考えのもと、最優先で復興支援に取り組む。
復興に向けた金融の円滑化、復興支援事業への積極的な参画などにより、福島の復興・発展のため役職員全員が汗を流す。

成長戦略の
着実な遂行

メイン化推進・裾野拡大による預貸金の増強および有価証券運用力の強化により、更なる成長を目指す。
お客さまに適した金融サービスの提供により、役務取引等利益などの強化を図る。
重点マーケット・重点分野へ大胆に経営資源を投入するとともに、営業の原点に立ち返り一步一步足で稼ぐ。

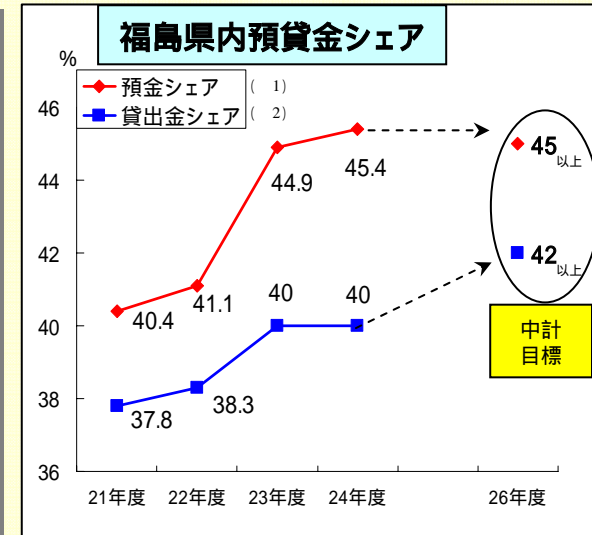
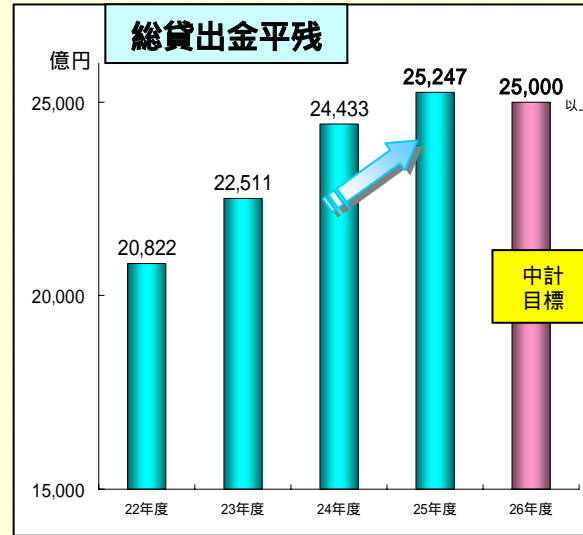
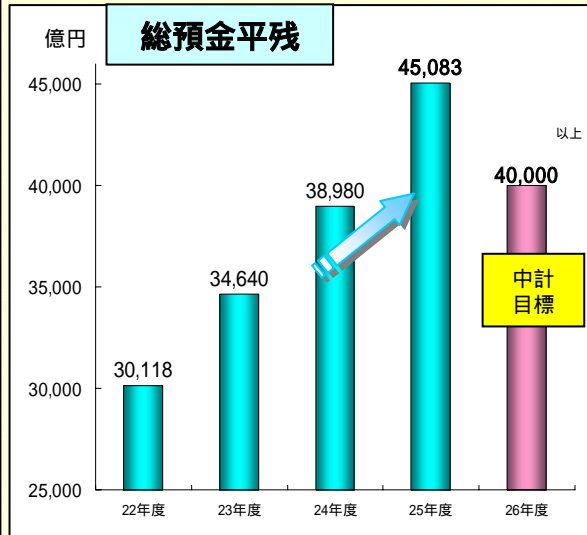
経営体質の
更なる強化

人材育成および権限委譲の拡充により、「自ら考え、自ら行動する」企業風土を確立し、一人ひとりが積極的に考動する組織へ変革する。
営業店業務改革・本部業務効率化により、営業活動に特化できる人員を創出する。

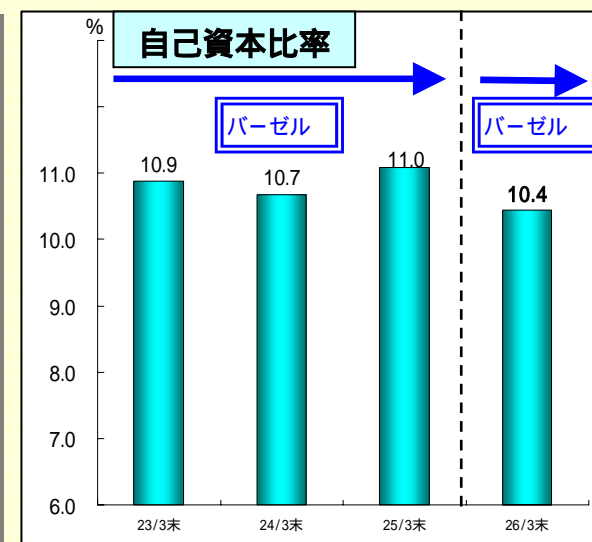
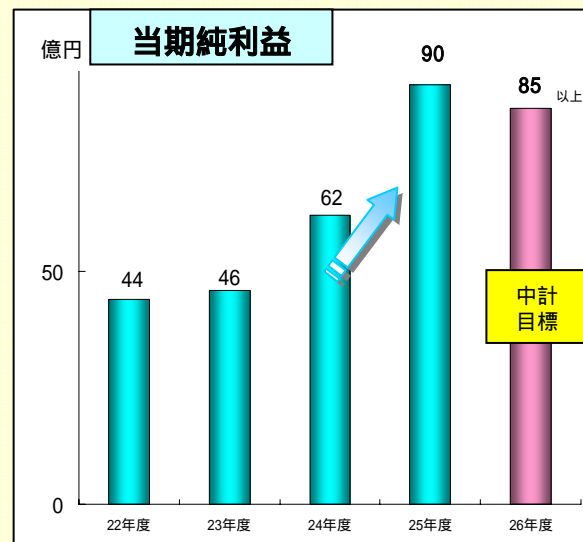
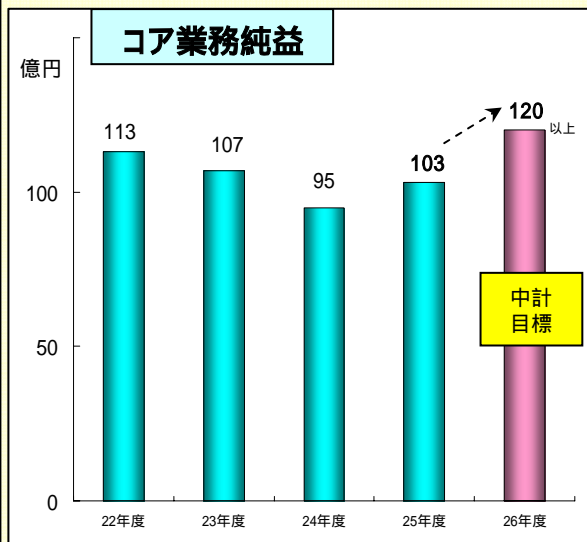
法令等遵守・リスク管理態勢の強化

(1)実質業務純益 - 債券関係損益、(2)ゆうちょ銀行・農協を除く、(3)農協・政府系金融機関を除く
直近の経営環境を踏まえ、中期経営計画の目標(平成26年度末)を一部修正しております。

2. 主要勘定目標、経営指標目標



(1) ゆうちょ銀行・農協を除く、(2) 農協・政府系金融機関を除く



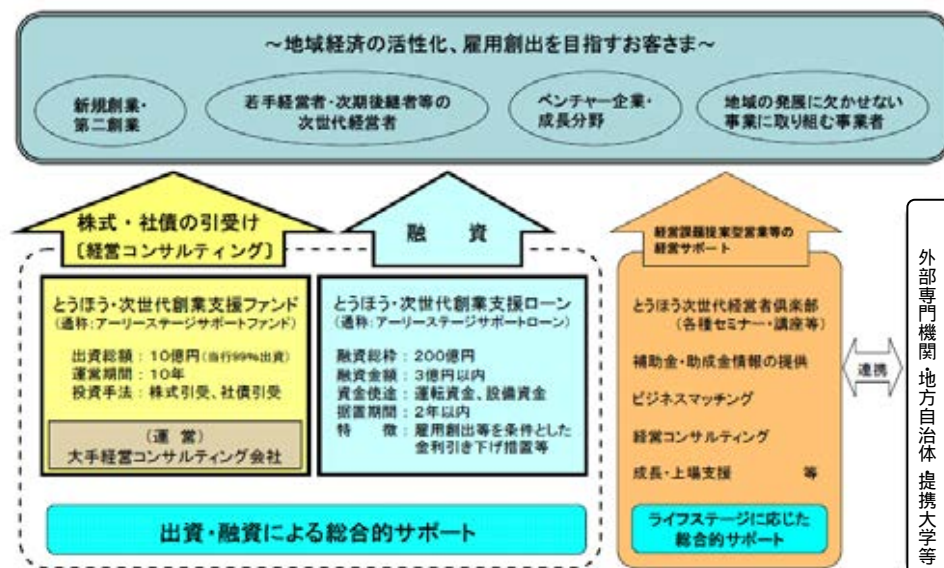
3. 事業をされているお客さまの支援 (1) 成長企業の支援

創業、第二創業に取り組むお客さま、成長分野関連企業、ベンチャー企業等のお客さまを支援

「投資ファンド」等による創業支援態勢の構築

金融庁「新規融資や経営改善・事業再生支援等における参考事例集」に掲載

お客さま支援態勢イメージ図



平成25年度実績

創業支援ファンド: 4件 170百万円

創業支援ローン: 7件 141百万円

事業内容	投資額
情報通信	10百万円
衣料品等	60百万円
植物工場	50百万円
その他	50百万円

復興応援「とうほう次世代経営者倶楽部」

会員数(平成25年度末) 約900名

創設目的

人脈づくり

復興に向けた情報の提供

経営者としてのスキルアップ支援



若手経営者向け実践講座「とうほう次世代経営塾」

とうほう次世代経営塾 第一期生

32名(うち女性4名)



3. 事業をされているお客さまの支援 (2) 成長分野への取組み

成長分野である再生可能エネルギー、医療産業、6次産業化等を積極的に支援

再生可能エネルギー分野への融資実績

実行額累計 (億円)

種類	件数	実行金額
太陽光	107	117
風力	2	45
小水力	1	6
バイオマス	1	24
合計	111	192

成長分野への取組み

企業立地補助金対象先への累計対応実績

(億円、平成25年度末)

制度名	件数	実行金額
ふくしま産業復興 企業立地補助金	149	465
津波・原子力災害被災地域 雇用創出企業立地補助金	2	1
合計	151	466

PFI(Private Finance Initiative)の取組み

< 融資実績 >

件数	分野
5件	文化交流施設、病院、官庁、官舎、大学

医療産業支援

県内医療介護業のお客さま 約300先に対し経営課題提案型
営業等によりサポート

「ふくしま地域産業6次化復興ファンドへの出資参加

当行は金融機関として最高額を出資
(総額20億円、金融機関出資額8億円 **うち当行出資額4億円**)



「6次産業化セミナー」を県と共催(参加者320名)



3. 事業をされているお客さまの支援 (3) 事業承継支援・お客さまの販路拡大支援

後継者問題への対応として、経営課題提案型営業を通じた支援を実施
商談会やビジネスマッチングの機会提供によりお客さまの販路拡大を支援

事業承継支援への取組み

営業店と本部が連携し課題解決に向けたサポートを実施
外部専門機関と連携し、個社別に提案活動を展開

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
対応先数	255先	220先	264先	280先
(月平均)	21.2先	18.3先	22.0先	23.3先

「食」関連商談会の開催

「地方銀行フードセレクション2013」、
「ふくしまフードフェア」等を主催、共催
【ふくしまフードセレクション】



【ふくしまフードフェア】



後継者問題対応等としてのM & A業務

平成25年度実績

相談対応件数	57先
成約件数	5先
アドバイザーサービス契約締結件数	5先
外部機関との業務提携累計数	11先

「<東邦> M & A TVセミナー」開催
参加者 **64名**

復興支援通販事業の企画・協賛

【通販カタログ】

開始以降の販売実績 **90千個 / 3億円**
(平成23年5月～平成26年3月)



各種ビジネスマッチングの実績

「東邦・ビジネスマッチング」実績 **参加企業20社 商談件数80件**
その他ビジネスマッチング 平成25年度通期実績

情報提供件数200件、成約件数150件

3. 事業をされているお客さまの支援 (4) 事業性融資への取組み

被災されたお客さま支援のため、多様な金融サービスにより資金需要に積極的に対応

震災対応資金

震災関連制度資金の実行額累計（震災以降平成26年3月末）

	件数	実行金額
事業者向け	約4,300件	約1,000億円
個人向け	約500件	約6億円

復興支援ファンド

「ふくしま応援ファンド」 ファンド総額50億円

投融资実績累計 11件

「東日本大震災中小企業復興支援ファンド」 ファンド総額88億円

投融资実績累計 1件

ファンド出資状況一覧 **うち当行出資総額 56億円(約束額)**

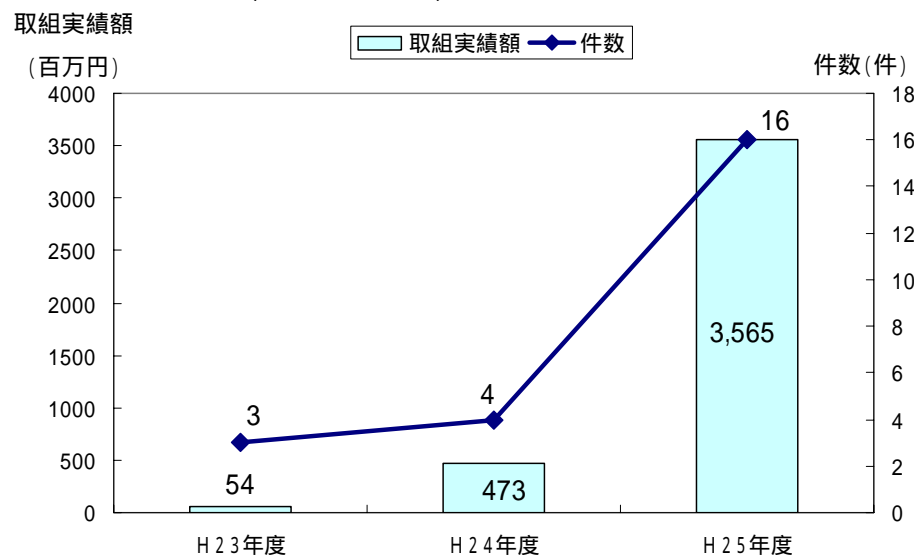
ファンド名	ファンドの種類	その他主な出資者	ファンド総額
東北インキュベーションファンド	株式未公開会社支援	当行、日本政策投資銀行 東北地銀	32億円
東北グロースファンド	同上	当行、日本政策投資銀行 東北地銀	36億円
うつくしま未来ファンド	事業再生支援	当行、中小機構 県内金融機関	30億円
福島産業復興機構	同上	当行、中小機構 県内金融機関	100億円
ふくしま地域産業6次化復興ファンド	成長分野支援	当行、農林機構 県内金融機関	20億円
ふくしま応援ファンド	経営支援	当行、日本政策投資銀行	50億円
東日本大震災中小企業復興支援ファンド	同上	当行、中小機構 青森、岩手、七十七銀行	88億円

動産担保融資(ABL)の取組み

不動産担保・個人保証に依存しない融資手法

「動産評価アドバイザー」5名を本部専門部署に配置

ABL取組実績(平成25年度)



私募債の取組み

私募債累計実績

(億円、平成25年度末)

	件数	実行累計額
私募債	481件	553億円
うち復興支援私募債	176件	218億円

平成25年度末残高は、288億円

3. 事業をされているお客さまの支援 (5) 事業再生への取組み

お客さまの事業再生・経営支援への積極的な対応を実施

事業再生支援体制の充実

「金融円滑化推進室」 22名体制で設置
(融資部・融資管理部・ローン事業部・法人営業部)

被災されたお客さまのご相談に対応

事業再生支援の実績

事業再生の実績累計 (先、人、億円)

	企業数	従業員数	与信額
支援協議会	13	1,016	133
地域経済活性化支援機構	3	1,411	114
その他私的再生	24	2,433	303
法的再生	5	1,622	208
合計	45	6,482	758

外部機関と連携し事業再生を支援

連携先外部機関

地域経済活性化支援機構
福島県中小企業再生支援協議会
福島産業復興機構
東日本大震災事業者再生支援機構
個人版私的整理ガイドライン運営委員会

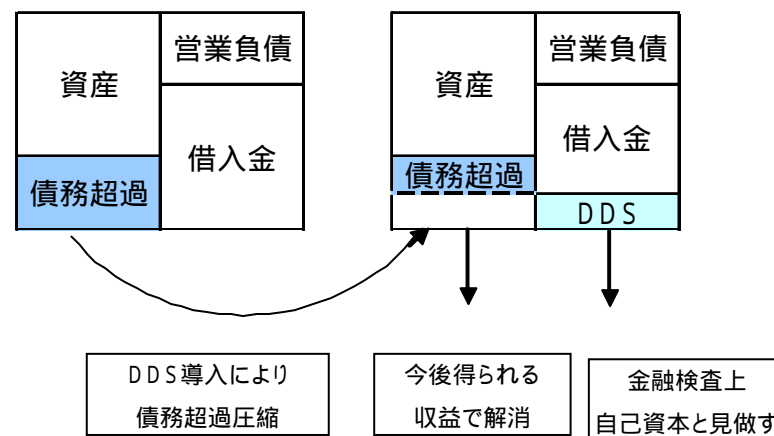
資本性借入金(DDS)の積極的な活用

震災復興支援のため運用が弾力化

DDSを自己資本と見做すことにより財務内容が改善される

累計実績(平成26年3月末) **6件 11億5千万円**

資本性借入金(DDS)スキーム図



3. 事業をされているお客さまの支援 (6) 海外マーケット進出支援

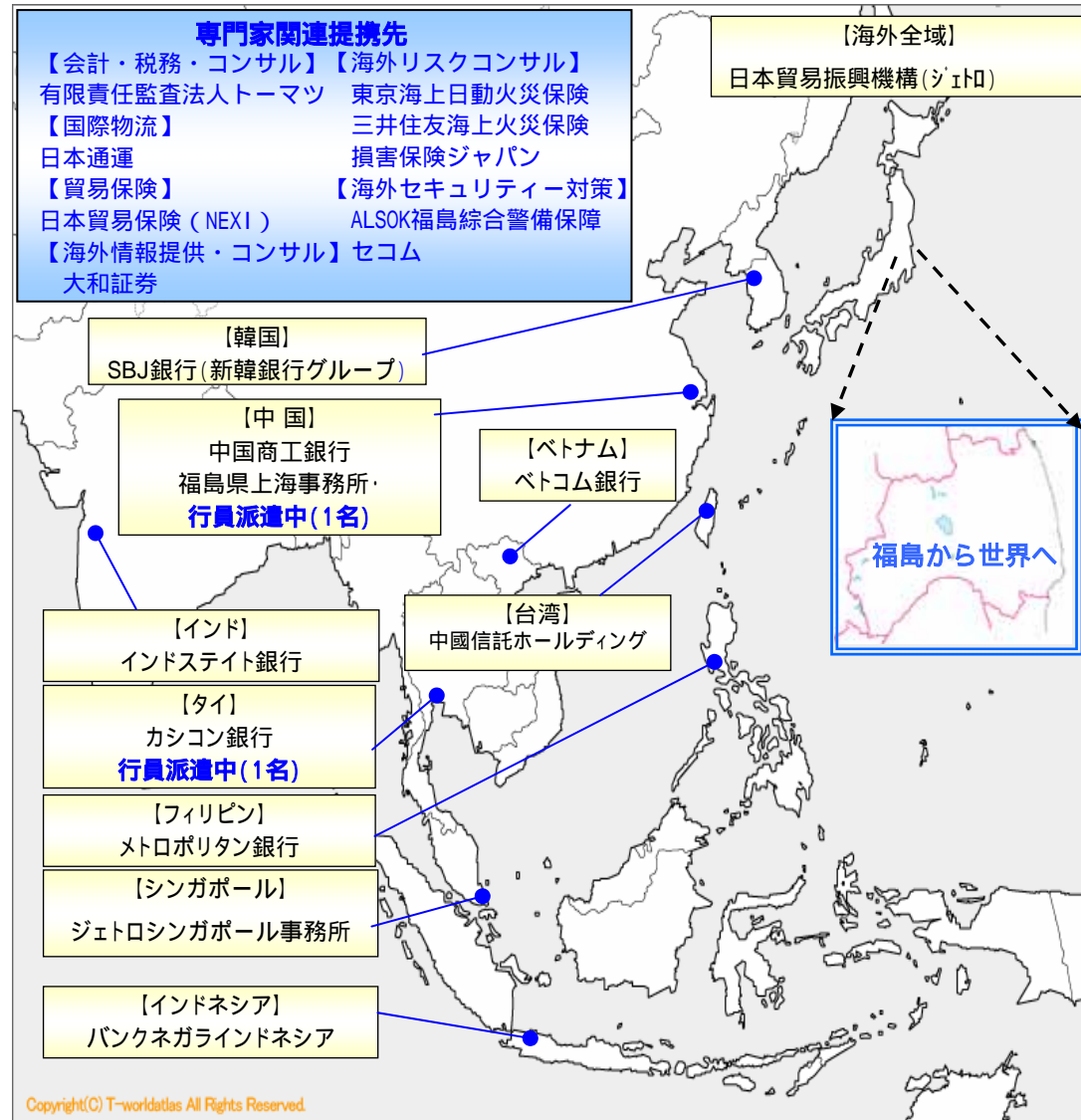
「海外事業支援室」を中心として、海外銀行との提携、行員海外派遣等によりお客さまの海外での事業展開を積極的に支援

金融面サービスの拡充

- 輸入の決済代金
- 海外進出資金等への資金手当
- 海外現地法人向け直接融資



海外銀行や各種専門家と積極的に業務提携を実施



「東邦海外事業支援セミナー」開催

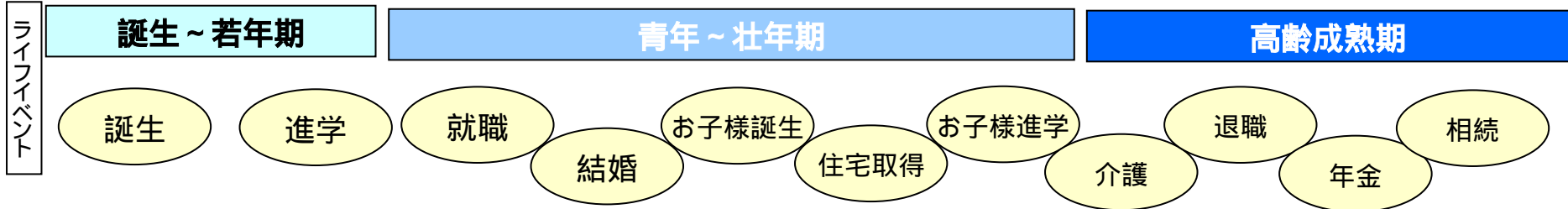
平成25年7月開催 参加者 51名



4. 個人のお客さまへのサポート

(1) ライフイベントに応じたサービスの提供

人生のライフイベントに対応するお客さまのニーズを捉えた営業推進を展開



「あつまれ 元気なふくしまっ子」

取扱実績
(平成25年度末)
22千件



教育資金専用口座

「未来・ふくしまっ子」
取扱実績
(平成25年度末)
226件 1,560百万円



写真付普通預金通帳

取扱実績
(平成25年度末)
91件



「Alwaysカード」
26万会員
(平成25年度末)



「Alwaysカード」
『キャッシュカード』機能と『クレジット』機能をあわせ持ったカード
ICチップ搭載でセキュリティにも優れている



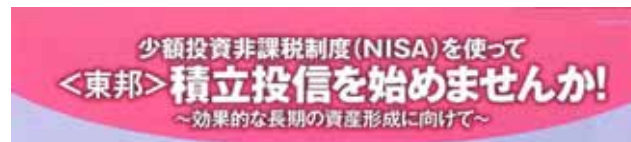
投資信託

一括購入・積立投信

窓口 **44商品**、ネット専用**10商品**をご用意

少額投資非課税制度(NISA)

平成26年1月より取扱開始



相続専用定期預金

「とうほう・想いのかけはし」
取扱実績
(平成25年度末)
98件 1,642百万円



年金サービス<特典>

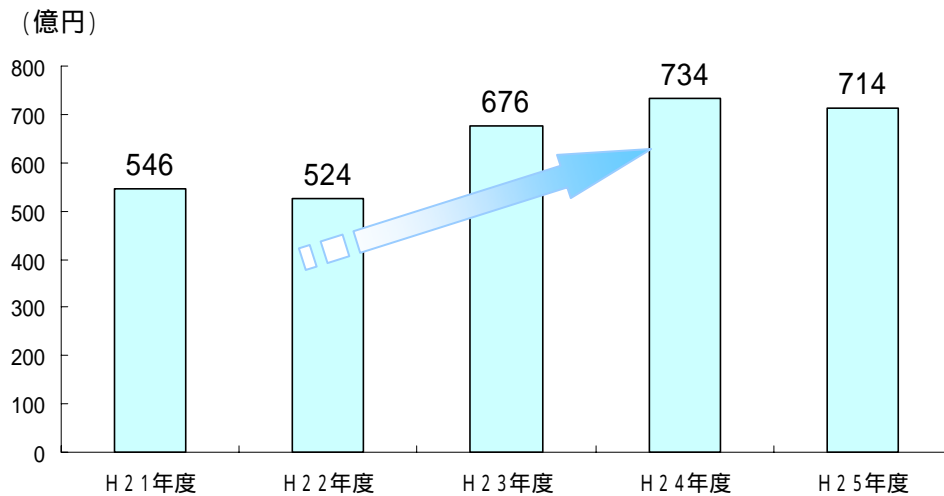
<p>金利上昇せ定期預金 (東邦)スーパー年金定期Ⅱを ご利用いただけます！ 店頭表示金利 年0.2%</p> <p>●お預け入れ金額：1,000万円まで ●お預け入れ期間：1年 (満期時に元金と利息を口座指定口座へ自動入金いたします)</p> <p>※お預け入れ金額は「スーパー年金」(スーパー定期 3000)に引き継ぎ可能な金額までとなります。 ※お預け入れ金額は「スーパー年金」(スーパー定期 3000)に引き継ぎ可能な金額までとなります。 ※お預け入れ金額は「スーパー年金」(スーパー定期 3000)に引き継ぎ可能な金額までとなります。</p>	<p>年金感謝 3Days 「お楽しみプレゼント」を ご用意しております！</p> <p>毎月数月の公的年金振込日から 3営業日を「年金感謝3Days」 といたしまして、ご来店のお客 さまへ「お楽しみプレゼント」を ご用意しております。</p> <p>※金額に限りがございますので先着順とさせていただきます。</p>
<p>「ふれあい倶楽部」 感謝企画を ご案内いたします！</p> <p>年に一度、感謝ショーなどの感謝 企画に特別料金でご案内いたし ます。</p>	<p>豊かなくらしづくり 応援ガイドブックを ご希望のお客さまに無料で プレゼントいたします！</p> <p>ご希望のお客さまは ご来店の際、窓口 にお申し付けください。</p>

4. 個人のお客さまへのサポート (2) 個人ローンの取組み

お客さまのライフイベント・さまざまな資金需要に応じた商品をご提供

住宅関連ローンの実行実績

住宅ローン実行額の推移



女性のお客さま向けローン商品創設・特典新設

女性向けローン創設により女性のお客さまの“なりたい夢”を応援



無担保ローン増強に向けたさまざまな取組み

新商品の導入



既存商品の改訂



主なローン商品



当行ホームページにローン返済、借換シミュレーション機能を追加

5. 地方自治体と連携した地域振興の取組み

地方自治体と連携し、ふくしまの復興・発展に向け、地域の課題に取り組む

「包括連携協定」締結自治体

締結日	締結先	協定内容	締結日	締結先	協定内容
H24.12.19	福島県	包括連携	H25.11.15	二本松市	包括連携
H25.3.18	矢吹町	産業振興・防災	H26.1.23	須賀川市	包括連携
H25.8.6	郡山市	包括連携	H26.1.31	本宮市	包括連携
H25.8.7	伊達市	包括連携	H26.2.5	いわき市	包括連携
H25.8.19	福島市	包括連携	H26.3.26	会津若松市	包括連携
H25.9.2	白河市	包括連携	H26.4.24	田村市	包括連携

【福島県との「包括連携協定」締結式】



「包括連携協定」に基づく施策の主な内容

東日本大震災からの復興・災害対策
各地域の経済活性化
再生可能エネルギーの推進
地域産品の販売および観光振興
自治体職員向け各種勉強会の開催
(PPP/PFI, 接遇等)
海外を含む各種商談会開催での連携
県外支店を通じた、県内行政情報等の県外発信
行員派遣 等

【「がくとくん1日郡山営業部長」(郡山市との連携協定によるイベント)】



6.チャネル戦略

お客さまへの利便性向上へ向けた多様な対応

店舗リニューアル・店舗開設

「郡山中町支店」リニューアルオープン(平成26年4月)

歴史的な外観を継承したデザインで建築



「名取支店」新設(平成26年5月)

宮城県に避難されているお客さまのご要望にお応えする目的で新設



土・日営業によるお客さまの利便性向上

土・日営業実施店舗拡大

【土・日営業実施店舗】

八山田支店、北福島支店、いわき鹿島支店、郡山東支店

ハローサービスセンターの土・日受付

移動ATM車「ふるさと・ふくしま号」

不測の事態においても
金融サービス提供を
維持する体制整備

県内外に避難されている
お客さまへ利便提供

【「ふるさと・ふくしま号」】



利便性向上に向けたATMサービスの展開

通帳繰越機能付ATM

インストア型ATM 積極展開

自行ATM手数料無料化

「いつでも」「だれでも」「何回でも」

地銀他行とのATM提携

提携行: 13行(平成26年3月現在)

最新型ATMの導入と機能拡充

ユニバーサルデザインの採用による操作性向上

硬貨の入金・出金取引の機能追加

7.システム戦略

お客さまサービスの充実、経営の効率化に向け積極的にシステム戦略を展開

TSUBASA(翼)プロジェクト

TSUBASA(翼)プロジェクト
平成20年3月にスタートしたシステム共同化を検討するプロジェクト
システム領域以外での幅広い連携も検討
<参加行>
千葉銀行、第四銀行、北國銀行、中国銀行、伊予銀行、当行

- TSUBASA(翼)プロジェクト参加実績
- ・平成24年4月新営業店システム導入
 - ・既存サブシステムの共同化・連携検討
 - ・新規サブシステムの共同検討・共同開発に向け幅広く検討中
 - ・大規模災害発生時の相互協力協定を締結

【災害時相互協力に関する協定書締結式】



「情報タブレット端末」の機能拡充・導入台数拡大

導入台数 **約1,000台**
営業担当者1人に1台配備

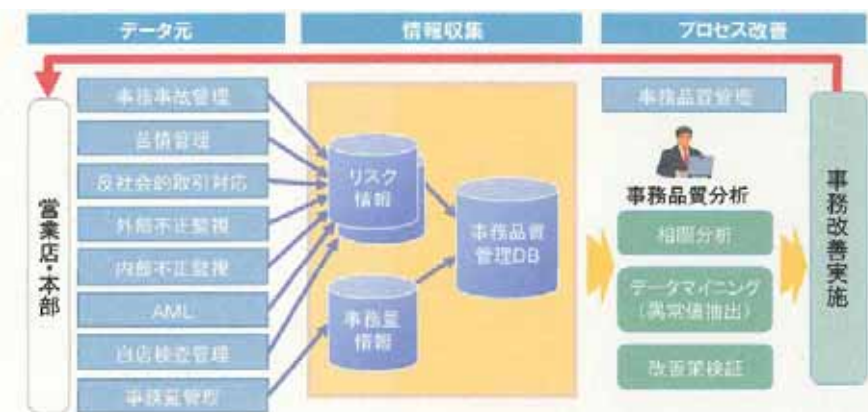
優れた情報収集機能を活かし
お客さまへのスムーズな提案
活動に繋げる



事務品質向上に向けたソリューション・システム稼働

(株)日立製作所、(株)日立ソリューションズと当行が共同開発

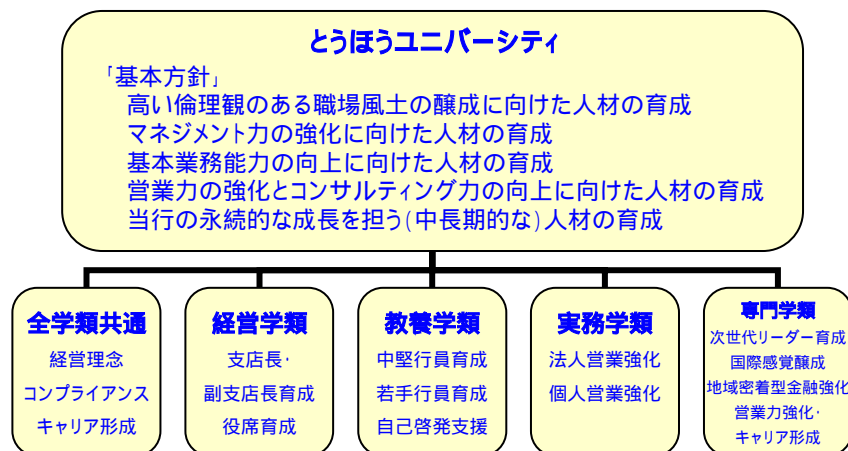
1. 不正取引監視の強化による銀行口座の犯罪利用防止
2. 事務品質管理機能による行内事務プロセスを効率的に改善



8. 経営体制の更なる強化 (1) 人材育成への取組み

当行を支える人材の育成と、その活躍を支援するためのさまざまな取組みを実施

独自の研修体系「とうほうユニバーシティ」



行内研修・休日セミナーを開催

行外派遣研修等への積極的な派遣

派遣数 **地方銀行トップクラス 毎年200名以上**

当行独自海外研修(米国)を継続実施



女性職員の活躍支援

ワークライフバランス支援策を実施

「女性活躍推進プロジェクト」による女性目線での商品・サービス・各種制度等の充実に向けた提案

【手さげ袋デザイン変更】
 【18歳以下のお客さま向け 企画商品】
 【パン田うさ蔵ぬいぐるみ】



【第5回 ハートフルセミナー】



ベテラン職員の活躍支援

「業務主任嘱託制度」(平成25年4月～)

65歳まで嘱託として継続就業できる環境を整備

8. 経営体質の更なる強化 (2) 従業員のワークライフバランス支援

従業員のワークライフバランスの充実を支援

活発なクラブ活動

「東邦銀行陸上競技部」、「東邦銀行野球部」をはじめ
「吹奏楽部」、「合唱部」など**9クラブ総勢223名**が活動中

【東邦銀行陸上競技部】

全日本実業団対抗陸上競技選手権**女子総合3連覇**



【東邦銀行野球部】



【ランナーズクラブ】



【バスケットボール】



【吹奏楽部】



【シーガルテニスクラブ】



【TOHOカルテット】



【そば打ちクラブ】



【合唱部】



9. 地域貢献・CSRへの取り組み

ふくしまの未来を担う子どもたち、人材の育成を幅広く支援

「屋内遊び場「とうほうわんぱくランド」

子どもたちが安心して遊べる場として当行研修センター敷地内に設置

平成25年11月に **来園者数 1万人到達**



「株式会社 とうほうスマイル」

障がい者が中心に働く特例子会社を平成24年3月に設立

現在20名が在籍

さまざまな形で銀行業務に貢献

東邦カップ「第2回ふくしまリレーズ」開催

福島陸上競技協会と共催

当行陸上競技部の選手も参加



「エコノミクス甲子園」福島大会を開催

高校生に金融経済の仕組みを楽しく知ってもらう
目的で開催

参加校 10校
参加者 28チーム
56名



「TOHO親子金融教室」を継続開催

子どもたちに「お金の使い方」、「銀行の業務」について理解を深めてもらう
目的で開催



「福島大学提供講座」を開講

役職員が講師となり、「地域金融論」について講義



9. 地域貢献・CSRへの取り組み

ふるさと“ふくしま”の持続的発展に貢献していくため、「地域社会の活性化」「地域の環境保全」を重視したCSR活動を展開

県営あづま陸上競技場のネーミングライツ取得

<ネーミングライツの内容>

名称 **「とうほう・みんなのスタジアム」**

期間 平成25年5月～平成30年3月



第98回日本陸上競技選手権大会の開催

平成26年6月、「とうほう・みんなのスタジアム」にて第98回
日本陸上競技選手権大会の開催が決定

国内のトップアスリートが一堂に会する機会となる

当行陸上競技部所属の渡辺真弓選手、千葉麻美選手、
青木沙弥佳選手らが出場予定

未来。走れ。
FUKUSHIMA 2014
第98回
日本陸上
競技選手権大会

第98回 日本陸上競技選手権大会

兼 第17回アジア競技大会(2014/仁川)代表選手選考競技会

平成26年6月6日(金)・7日(土)・8日(日)

会場 **とうほう・みんなのスタジアム**
(県営あづま陸上競技場)

主催/日本陸上競技連盟 共催/福島県、福島県教育委員会、福島市、福島市教育委員会 主管/福島陸上競技協会

「とうほうの森」づくりの実施

平成21年度より行っている役職員や家族による植林活動

これまでに、須賀川市、喜多方市、北塩原村で実施

「福島ユナイテッドFC」オフィシャル・スポンサー

福島ユナイテッドFCのJ3開幕戦が「東邦銀行スペシャルマッチ」として
「とうほう・みんなのスタジアム」で開催
当行共催で子どもたち向けのサッカー教室も開催





本資料には、将来の業績に係る記述が含まれておりますが、こうした記述は、将来の業績を保証するものではありません。

将来の業績は、経営環境等の変化等により異なる可能性がありますのでご留意ください。

< 本資料に関するお問い合わせ先 >

東邦銀行 総合企画部

TEL 024 - 523 - 3131

FAX 024 - 524 - 1425